

平成29年度木津川市 事務事業評価結果 (平成28年度執行分)

平成29年12月
総務部財政課行財政改革推進室

第1 木津川市の行政評価

1 行政評価

行政評価とは、政策・施策・事務事業から構成される政策体系について、その成果や実績等を有効性や効率性等の観点から評価するものであり、行政の現場に「計画（Plan）」⇒「実施（Do）」⇒「評価（Check）」⇒「改善（Action）」⇒再び「計画（Plan）」というPDCAサイクルを導入し、成果の達成に向けた事業の実施を可能にしようとする手法です。

木津川市においては、行財政改革の取組みの一環として、事務事業評価を導入し、毎年度、個々の事務事業の評価（検証）を行い、その結果を予算編成や事務事業の見直しに反映させています。

2 事務事業評価を導入する目的

木津川市では、次の4点を目的として、事務事業評価を導入しています。

(1) 成果重視の行政運営システムへの変革

これからの行政運営では、「どれだけの行政サービスを提供したか」ではなく、「行政サービスの提供によってどんな成果があったか」を重視することが求められていることから、行政サービスの成果等を評価する仕組みを作り、行政運営の基本システム（総合計画や予算等）に連携させることにより、成果重視の行政運営システムへの変革を図ります。

(2) 限られた財源等の有効活用

限られた財源等を有効に活用するためには、コスト削減とスクラップ・アンド・ビルドの徹底が求められていることから、行政サービスの成果等の評価結果により、改善や事業の取捨選択を次年度へ適切につなげていくことができるマネジメントサイクルの確立を図ります。

(3) 市民への説明責任の質的向上

市民との協働によるまちづくりを進めるためには、行政活動の情報を市民の皆様と行政が共有していることが重要であり、常に行政の透明性を確保する必要があることから、行政サービスの成果等の評価結果に指標を付した上で公表し、市民への説明責任（アカウンタビリティ）の質的向上を図ります。

(4) 職員の意識改革

成果重視の行政運営を行うためには、職員個々の意識も改革していかなければなりません。事務事業評価の取組みを通じて、職員が個々の事務事業の目的やコストを常に意識して事務を執行することにより、政策形成能力や事務執行能力の向上を図ります。

第2 平成29年度事務事業評価の実施概要

1 評価の年度

平成29年度事務事業評価では、前年度（平成28年度）に執行した事務事業についての評価を行っています。

2 評価の対象

事務事業評価の対象は、一般会計、特別会計に属する全ての事務事業としています。
ただし、市の裁量の及ばない国等の法律に基づく法定受託事務、施設等の維持管理事務や内部管理事務等の義務的事業及び人件費を含めた総コストが1,000千円未満の事業は、公表の対象外としておりますので、平成28年度に公表する事務事業数は306事業です。

3 評価の主体

それぞれの事務事業の所管課長が、統一した考え方のもとで、自ら評価を行っています。

4 評価の手法（総コスト表示）

それぞれの事務事業の執行にあたり、1年間でどれだけの費用を要したかを明示するため、事業費決算額に人件費を加えた総コストを用いて評価しています。
人件費の算出については、平成28年度の平均人件費（職員一人当たり8,190千円【人件費6,862千円＋共済費等1,328千円】、嘱託職員一人当たり2,707千円【社会保険料等を含む】）に当該事務事業へ投入した職員数を乗じています。
なお、臨時職員については、平均人件費ではなく実際の支出額を用いています。

5 評価の手法（職員数の数え方）

できる限り正確な人件費を算出するために、職員や臨時等職員（嘱託職員と臨時職員）が、1年間でどれだけ、その事務事業に従事していたかを、おおよその年間作業時間を割り出して算出した数値を用いて評価しています。
例えば、職員1名が概ね6ヶ月間、専属で従事していた事務事業であれば0.5名となります。

6 評価の目安

評価は、事業実施・総合計画推進部門とコスト削減・効率化・事務改善部門の2項目について、次の3段階で行っています。

評価	
3	良好な実施結果であった。指標・実績等が昨年度（例年）に比べて大きく向上した。
2	概ね通常の実施結果であった。指標・実績等が昨年度（例年）と同様であった。
1	事業の実施に問題があった。指標・実績等が昨年度（例年）に比べて大きく低下した。

第3 平成29年度事務事業評価結果一覧表

平成29年度事務事業評価結果は、次の一覧表のとおりです。表の見方は、2ページの「事務事業評価結果一覧表の記載例」を参照してください。
なお、一覧表は、木津川市総合計画（基本計画）の基本方針・施策目標・施策の順序で作成しています。

【事務事業評価結果一覧表の記載例】

木津川市総合計画(後期基本計画)における施策の体系を記載しています。

◎総合計画(基本計画)の施策の体系

『将来像』 水・緑・歴史が薫る文化創造都市

『基本方針』 ○○○○○

『施策目標』 □□□□□

『施策』 ◇◇◇◇◇

事務事業に係る従事職員数を記載しています。従事職員数の算出方法は『第2 平成29年度事務事業評価の実施概要 5 評価の手法(職員数の数え方)』を参照ください。

事務事業に係る臨時等職員数を記載しています。臨時等職員数の算出方法は『第2 平成29年度事務事業評価の実施概要 5 評価の手法(職員数の数え方)』を参照ください。

事務事業の評価結果を記載しています。評価の詳細は、『第2 平成29年度事務事業評価の実施概要 6 評価の目安』を参照ください。

事務事業の担当課(局・室)を記載しています。

No.		総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決 算額+人件 費) (千円)	従業員 数(人)	嘱託・臨 時職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管課	
		基本方針		施策目標		施策						指標項目1	数値	単位	指標項目2	数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減 効率化・ 事務改善	区分	内容		
285	7	まちづくりへ の参画と協働 の創造	3	新たな行政経 営の展開と財 政基盤の強化	38	新たな行政経 営システムに よる市民サー ビスの向上	行財政改革事務事業費	281	16,661	2.00	0.00	行財政改革推 進委員会開催 回数	4	回	事業仕分け実施 回数	1	回	2	2	継続	事業を継続する。第2次木津川市行財政改革行動計画に基づき行財政改革を推進する。また、執行目標、事務事業評価の実施、指定管理者の制度運用等を行う。平成29年度は、第3次木津川市行財政改革大綱の策定年であり、行財政改革推進委員会への諮問、パブリックコメントの実施、行財政改革推進本部会議の政策決定を経て、策定を行う。なお、行財政改革推進委員会による事業仕分けは、第3次大綱の審議(諮問事項)のため、今年度は実施しない。		行財政改革推進室

事務事業の名称を記載しています。概ね、予算事業ごととなっています。

事務事業に係る総コストを記載しています。総コストの算出方法は『第2 平成29年度事務事業評価の実施概要 4 評価の手法(総コスト表示)』を参照ください。

事務事業ごとの指標の内容と数値を記載しています。

事務事業の今後の方向性を区分と内容に分けて記載しています。

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課		
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善
1	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	文化財整理保管センター及び発掘調査事務所維持管理事業費	4,268	9,182	0.60	0.00	開館日数	307	日	文化財整理保管センター及び同分室利用者数	4,807	人	2	2	継続	事業を継続する。	文化財保護課
2	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	文化財公開管理事業費	24,131	27,817	0.45	0.00	公有地等環境維持対象面積	147,835	㎡				2	2	継続	事業を継続する。文化財保護室管理地(恭仁宮跡・椿井大塚山古墳・高麗寺跡・上人ヶ平遺跡公園・石のカラト古墳・上津遺跡・梅谷瓦窯跡・城址公園・鹿背山瓦窯跡)を有効活用するため維持管理を実施する。上人ヶ平遺跡公園の破損した説明版を修理する。	文化財保護課
3	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	指定等文化財修理等補助事業費	9,910	13,721	0.30	0.50	補助金交付申請件数	36	件				2	2	継続	事業を継続する。文化財の防犯防災事業及び保全修理事業に対して補助金を交付する。	文化財保護課
4	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	文化財保護経常事業費	689	3,146	0.30	0.00	審議会活動回数	1	回				2	2	継続	事業を継続する。市内の文化財の保護対策を計画するとともに、新たな市指定文化財の指定に向けて取り組む。	文化財保護課
5	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	高麗寺跡整備事業費	19,947	25,271	0.65	0.00	当該年度史跡等整備予定面積	3,724	㎡	当該年度整備率(整備済面積/整備予定面積)	70	%	2	2	継続	事業を継続する。実施設計に基づき、史跡整備工事に着手する。本年度は講堂跡、塔跡を中心とした整備に取り組む。	文化財保護課
6	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	史跡等買上事業費	72,720	75,989	0.30	0.30	当該年度史跡等買上面積	453	㎡	恭仁宮跡公有化率(公有化済面積/史跡等面積)	49	%	2	2	継続	事業を継続する。公有化する土地所有者との交渉を進め、早期の公有化を目指す。史跡神雄寺については、3箇年計画(平成27年度～29年度)での公有化を継続実施して行う。	文化財保護課
7	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	発掘調査等受託事業費	0	1,638	0.20	0.00	発掘調査実施件数	0	件				2	2	継続	事業を継続する。今後、新たに発掘調査の必要が生じた時には、当事業で対応することとする。	文化財保護課
8	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	市内遺跡発掘調査事業費	2,237	7,151	0.60	0.00	市内遺跡調査等実施件数	4	件				2	2	継続	事業を継続する。鹿背山城跡の史跡指定に向け、総合調査報告書の刊行を行う。	文化財保護課
9	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	史跡恭仁宮跡整備活用事業費	558	1,377	0.10	0.10	当該年度仮整備済面積	0	㎡	仮整備率(仮整備済面積/整備予定面積)	0	%	2	2	継続	事業を継続する。くにもや学習館(文化財整理保管センター分室)を史跡恭仁宮跡等の学習・観光の拠点として利用促進を図る。一定、公有化が進捗したことにより、恭仁宮跡の活用を図るため、どのような整備が可能か検討する。	文化財保護課
10	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	当尾地域活性化協働モデル事業費	122	3,398	0.40	0.00	委員会等開催回数	5	回				2	2	継続	事業を継続する。当尾地域力創造プランに基づき事業を進める。	観光商工課
11	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	1	歴史・文化の保全・活用	1	歴史・文化の保全・活用	環の拠点事業費	2,710	9,123	0.75	0.20	委員会等開催回数	3	回	キヅガワゴン活用回数	1	回	2	2	継続	事業を継続する。お茶の京都と連携した取組を推進し、移動式屋台キヅガワゴンを利用した賑わい創出など、交流拠点づくりに向け外部からの視点も含め検討を進めていく。	観光商工課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課		
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善
12	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	2	歴史・文化・伝統を背景とした地域文化創造活動の促進	2	地域文化創造活動の育成・促進	学研まち振興事務事業費	3,367	8,117	0.58	0.00	学研関連団体数	2	団体	イベント参加者数(プチコン除く)	2,025	人	2	2	継続	事業を継続する。行政連絡会や活性化促進協議会で、学研都市の整備促進や情報発信に有効な事業を検討・実施する。	学研企画課
13	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	2	歴史・文化・伝統を背景とした地域文化創造活動の促進	3	水・緑・歴史のネットワークづくり	観光振興事業費	41,975	61,083	2.30	0.40	木津川市観光入込客数	987,024	人	木津川アート来客者数	11,822	人	2	2	継続	事業を継続(一部見直し)する。観光協会と連携した取り組みを継続的に実施する。	観光商工課
14	1	個性を活かした魅力ある地域文化の創造	2	歴史・文化・伝統を背景とした地域文化創造活動の促進	3	水・緑・歴史のネットワークづくり	SNS魅力発信事業費	208	3,894	0.45	0.00	グッズ配布件数	600	件				2	2	継続	オリジナル缶バッジ事業のPRを行い、より多くの市民に情報発信を行うよう促す。	観光商工課
15	2	地域力を活かした産業・事業の創造	1	関西文化学術研究都市を活用した新たな地域産業の創造	4	最先端の研究成果を活かした新産業・新事業の創出	企業立地促進事業費	38,393	50,678	1.50	0.00	新規事業所立地決定累計件数(木津南地区)	17	件	新規事業所立地決定面積/産業用地面積(木津南地区)	100	%	2	2	継続	事業を継続する。企業誘致活動については一定の成果が見られ、残る木津中央地区について、早期立地決定を実現するため、関係機関(UR、京都府など)との連携・情報交換を密にし、広域的かつ積極的・戦略的な誘致活動を展開する。また、今後は市内企業と新規立地企業との関係をより密にし、木津川市として特色のあるアフターフォロー(定期訪問、課題聴取、雇用確保、企業間連携の推進など)に努める。	企業立地推進室
16	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	農業振興単費事業費	906	8,277	0.90	0.20	実行組合数	60	組合	農家戸数	2,300	戸	3	2	継続	各種事業(農家実行組合活動・農業関係各種協議会)に対する補助等を継続する。特に、スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)対策については、平成31年度まで延長して実施する。また、本市の農産物および観光の知名度向上に向けた活動を実施する。	農政課
17	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	農地事務事業費	1,158	4,434	0.40	0.00	土地改良事業箇所数	5	箇所				2	2	継続	事業を継続する。	建設課
18	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	木津かんがい排水事業費	14,844	17,711	0.35	0.00	管路工	3,695	m				2	2	継続	事業を継続する。老朽化した施設の更新及び改良などの基本計画を行う。	建設課
19	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	土地改良事業費	11,334	15,020	0.45	0.00	改良実施箇所数	17	箇所				2	2	継続	事業を継続する。土地改良施設修繕21箇所に補助金を支出する。	建設課
20	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	府営基幹農道整備事業費	7,005	9,053	0.25	0.00	整備延長	1,553	m	整備率(施工済延長/総延長)	100	%	2	2	終了	事業を終了する。事業完了後は、整備済農道の利用率を高めるため、営農面及び森林公園等の資源を活用した取り組みを推進する。	建設課
21	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	多面的機能支払交付金事業費	35,916	39,602	0.45	0.00	補助団体数	8	団体				2	2	継続	事業を継続する。継続的な地域活動を目指し、活動区域の拡大を図る。	建設課
22	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	有害鳥獣対策事業費	9,414	15,557	0.75	0.20	猟友会駆除出動回数	549	回	有害鳥獣駆除数	1,024	匹	2	3	継続	事業を継続する。効率的な捕獲を行うため、国庫補助金を活用し、有害鳥獣捕獲を推進する。	農政課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標					評価		今後の方向性		所管 課	
	基本方針		施策目標		施策						指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位	事業実施・ 総計推進		コスト削減効果 率改善
23	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	15,375	19,061	0.45	0.00							2	2	継続	事業継続する。負担金(事業費の12.5%)を拠出する。実施地区の府営瓶原Ⅲ地区について、平成29年度末見込で、事業費不足が生じる見込であり、平成30年度以降に事業期間延長が必要となる見込みである。	建設課
24	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	10,207	14,302	0.50	0.00	青年給付金受給者数	10	人				3	3	継続	事業を継続する。京力農場プランは、概ね1年に1度、集落における話し合いにより、点検や見直しを行うこととされたため、決定済のプランについての点検や見直しを行う。また、青年就農給付金の給付を実施する。	農政課
25	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	6,602	11,516	0.60	0.70	認定農業者	26	人				2	2	継続	事業を継続する。本市の担い手となる農業者を選定し、産地経営構造改革方針に位置付けを行う。また、引き続き経営所得安定対策事業を実施するとともに、農家実行組合活動等に対する助成を実施する。	農政課
26	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	15,958	31,519	1.90	0.00	市役所以外でのみのり市の開催数	6					2	2	継続	事業を継続する。市内での販売等に取り組み、地産地消を推進する。また、農業者と他業者とのマッチングを図り、市内特産品の新たな魅力づくりを行う。	農政課
27	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	3,014	8,993	0.73	0.00	修繕実施箇所数	4	箇所				2	2	継続	事業を継続する。森林公園施設改善計画に基づき、施設の維持管理を行う。	農政課
28	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	336	1,974	0.20	0.00	茶園用地借上面積	119,712	m ²	茶生産量	570	t	2	2	継続	事業を継続する。利用集積化や担い手育成を図っていく。	農政課
29	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	6	安定した付加価値の高い農業の振興	3,696	4,679	0.12	0.00	補助団体数	1	団体	出品点数	4	点	2	2	継続	事業を継続する。	農政課
30	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	7	観光交流産業や商工業の振興	5,286	11,141	0.50	0.78	入込客数	50,000	人				2	2	継続	事業を継続する。木津川市夏祭り実行委員会を主体に、協賛金等の自主財源確保及び来場者数増加への対応を行う。	観光商工課
31	2	地域力を活かした産業・事業の創造	2	地域資源を活用した新しい地域産業創出システムの構築	7	観光交流産業や商工業の振興	45,276	57,971	1.55	0.20	保証料補助・利子補助件数	170	件	補助決定率	100	%	2	2	継続	事業を継続する。中小業者の負担軽減のため、保証料及び利子補給金を支出する。プレミアム商品券事業について補助する。合併後の木津川市商工会のさらなる発展を促す。「創業支援事業計画」において、各関係機関が連携し、創業希望者に適した支援を実施できるよう、体制を整備する。	観光商工課
32	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	9	災害に強い都市基盤づくり	12	5,336	0.65	0.00	当該年度整備済延長	0	m	整備率(整備済延長/総整備延長)	0	%	2	2	継続	事業を継続する。	建設課
33	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	9	災害に強い都市基盤づくり	5,350	8,626	0.40	0.00	急傾斜地崩壊対策事業実施箇所数	1	箇所	負担金	5,350	千円	2	2	継続	事業を継続する。京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対して、事業費の一部を負担する。	まちづくり事業推進室

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課		
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善
34	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	9	災害に強い都市基盤づくり	河川関係負担金事業費	305	7,676	0.90	0.00	要望団体数(加盟団体数)	2	団体	要望実施件数	3	件	2	2	継続	事業を継続する。木津川治水会及び京都府砂防・治水・防災協会を通じて、要望活動を行う。	指導 検査 課
35	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	9	災害に強い都市基盤づくり	東中央線整備事業費	187,340	206,177	2.30	0.00	東中央線整備事業実施箇所数	1	箇所	東中央線関連道路整備事業実施箇所数	1	箇所	2	2	継続	事業を継続する。京都府が実施する東中央線整備事業に対して、事業費の一部を負担する。また、東中央線関連事業として、鹿背山地域内の市道整備事業を実施する。	まちづくり事業 推進室
36	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	9	災害に強い都市基盤づくり	内水対策事業費	50,135	55,671	0.68	0.08	仮設内水排除施設改修工事等件数	1	件				2	2	継続	事業を継続する(平成29年度以降は事業終了予定)。減災を目的として現施設の排水能力の向上を実施する。本格的な排水機場設置を目指して関係機関へ要望する。	管理 課
37	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	9	災害に強い都市基盤づくり	災害に強い森づくり事業費	4,849	7,716	0.35	0.00	浚渫工	1	箇所	森林整備	1	箇所	2	2	継続	事業を継続する。	建設 課
38	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	9	災害に強い都市基盤づくり	旧大野排水樋門撤去工事委託事業費	21,762	22,991	0.15	0.00	旧大野排水樋門撤去工事委託料	21,762	千円				2	2	継続	事業を継続する。国土交通省が旧大野排水樋門撤去工事を実施する。	まちづくり事業 推進室
39	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	9	災害に強い都市基盤づくり	ため池維持管理事業費	7,323	10,190	0.35	0.00	ため池点検	60	箇所				2	2	継続	事業を継続する。	建設 課
40	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	9	災害に強い都市基盤づくり	木造住宅耐震診断改修事業費	3,453	8,367	0.60	0.00	募集件数	9	件	応募件数	9	件	2	2	継続	事業を継続する。制度の広報や啓発イベント等により、事業促進を図る。	都市 計画 課
41	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	9	災害に強い都市基盤づくり	橋りょう点検修繕事業費	44,331	50,064	0.70	0.08	市管理橋りょう349橋の点検・補修	18	橋				2	2	継続	事業を継続する。橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、橋梁点検及び補修工事を継続実施する。	管理 課
42	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	10	地域防災対策の充実	消防団運営事業費	64,760	78,683	1.70	0.00	延べ消防団出動回数(会議・訓練・火災等)	8,312	回	消防団員数	728	人	2	2	継続	事業を継続する。平成29年度は、市防災訓練、出初式、災害想定訓練、教養訓練、年末特別警戒を実施する。併せて、若手消防団員及び女性消防団員の人材確保を目指す。また、全国女性消防操法大会(秋田県開催)に向け、練習を重ね、上位入賞を目指す。	危機 管理 課
43	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	10	地域防災対策の充実	水防事業費	734	3,191	0.30	0.00	水防倉庫数	6	基				2	2	継続	事業を継続する。土のう用土砂及び土のう袋を購入する。	危機 管理 課
44	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	10	地域防災対策の充実	災害対策事業費	16,743	32,304	1.90	0.00	AED設置数	48	台	防災倉庫及び備蓄倉庫数	27	基	2	2	継続	事業を継続する。平成29年度は避難所用資機材の他、棚倉地域に防災倉庫を設置する。また、住民の防災意識の高まり、災害発生時の対処、自主防災組織の充実など総合的に考え、防災倉庫を配備する。	危機 管理 課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課			
	基本方針		施策目標		施策						指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善		区分	内容	
45	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	10	地域防災対策の充実	被災地支援事業費	1,252	2,890	0.20	0.00	被災地派遣職員数		5	人				2	2	終了	平成29年度については、事業実施予定はない。	危機管理課	
46	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	10	地域防災対策の充実	防災行政無線整備事業費	255,404	259,499	0.50	0.00	整備進捗率		100	%				2	2	終了	城山台地域に屋外拡声子局を追加整備する。戸別受信機の設置基準及び防災行政無線関係の要綱を見直す。	危機管理課	
47	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	10	地域防災対策の充実	被災者住宅等支援事業費	1,051	2,689	0.20	0.00	補助金申請件数		3	件				2	2	終了	平成29年度事業完了に伴い、事業を終了する。	危機管理課	
48	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	10	地域防災対策の充実	防災行政無線運営事業費	1,336	3,793	0.30	0.00	緊急放送の回数		36	回				2	2	継続	事業を継続する。緊急時の放送に備え、操作方法を習得する。放送機器の維持管理に努める。	危機管理課	
49	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	10	地域防災対策の充実	災害時地域支援事業費	364	1,511	0.14	0.00	避難行動要支援者対象者数 (要援護者数)		4,317	人	避難行動要支援者名簿・個別計画書登録者数		3,321	人	2	2	継続	事業を継続する。今後も未登録の対象者への登録の勧奨を行い、個別計画書の有効的な運用を行えるよう、危機管理部局と連携を強める。	社会福祉課
50	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	11	防犯・交通安全対策の推進	交通安全施設整備事業費	11,140	17,692	0.80	0.00	駐輪場面積		8,614	m ²	カーブミラー設置、修繕件数		28	件	2	2	継続	事業を継続する。交通事故等の減少に向け、交通安全施設等の整備に努める。	総務課
51	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	11	防犯・交通安全対策の推進	防犯灯整備事業費	59,974	66,117	0.75	0.00	新設整備件数		14	件	復旧・修繕等整備件数		176	件	2	2	継続	事業を継続する。木津川市防犯灯設置要綱に基づき、適切に防犯灯の設置及び修繕等を実施する。	総務課
52	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	11	防犯・交通安全対策の推進	交通安全啓発事業費	2,076	5,516	0.42	0.00	放置自転車等パトロール回数		96	回	放置自転車等処分台数		147	台	2	2	継続	事業を継続する。市内の交通事故の減少に向けて、引き続き放置自転車の撤去により安全確保に努めるとともに、効果的な啓発活動を実施することにより、注意喚起を行う。	総務課
53	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	11	防犯・交通安全対策の推進	加茂駅前駐車場運営事業費	11,936	15,785	0.47	0.00	開設日数		365	日	延べ利用台数		110,595	台	2	2	継続	事業を継続する。駐輪場業務は高齢者の雇用促進を図るために、市シルバーセンター人材センターと委託契約を締結し、経費削減を図りながら適切な管理に努める。	総務課
54	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	11	防犯・交通安全対策の推進	防犯事業費	9,858	15,591	0.70	0.00	防犯協会会議開催回数及び街頭啓発事業実施回数		7	回	市内犯罪件数		392	件	2	2	継続	事業を継続する。市内5箇所(地域要望、駅前周辺)に防犯カメラを設置する。また、防犯協会を中心に各市民団体や警察等とネットワーク化を進め連携を強化する。	危機管理課
55	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	11	防犯・交通安全対策の推進	消費生活センター運営事業費	2,017	5,703	0.45	0.00	開設日数		244	日	相談件数		575	件	2	2	継続	事業を継続する。相楽消費生活センターに消費生活相談員を配置し、消費生活に関する相談(多重債務相談を含む)、自主交渉の助言や斡旋及び情報提供などを実施する。	観光商工課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標					評価		今後の方向性		所管 課			
	基本方針		施策目標							施策	指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	区分
56	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	簡易水道事業特別会計繰出事業費	41,332	41,332	0.00	0.00	給水人口	1,567	人	給水量	147,788	m ³	2	2	終了	平成29年4月1日、水道事業に統合した。	水道業務課
57	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	簡易水道事業特別会計事業費	145,196	145,196	1.00	0.00	給水人口	1,567	人	給水量	147,788	m ³	2	2	終了	平成29年4月1日、水道事業に統合した。	水道業務課
58	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	水道事業会計負担事業費	31,773	31,773	26.00	2.00							2	2	継続	事業を継続し、平成29年度当初予算では、石綿セメント管更新、山城高区配水池関連の財源として110,256千円、旧瓶原簡易水道分元金償還金として14,326千円、基準内繰入分計124,582千円を一般会計から水道事業会計に出資を予定している。また、基準内繰入分の負担金として児童手当負担金1,980千円、旧瓶原簡易水道分利子として7,404千円、計9,384千円の負担を予定している。	水道業務課
59	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	水道事業会計事業費	2,771,188	1,685,481	26.00	3.00	給水人口	73,919	人	給水量	7,372,437	m ³	2	2	継続	事業を継続する。山城高区配水池築造工事、平成29年に水道資産整理を終了し、アセットマネジメントに取り掛かり、次期水道ビジョンの改訂や経営戦略策定取り組む。(H28年度～H30年度継続事業の2年目)	水道業務課
60	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	合併浄化槽事業費	5,266	9,771	0.55	0.00	補助金交付件数	12	件	浄化槽届出受理件数	19	件	2	2	継続	事業を継続する。浄化槽の設置等に係る検査・届出受理等を行う。また、自宅に合併浄化槽を設置する市民に補助金を交付する。補助金制度の啓発のため、特定地域を対象に回覧の配布等を実施する。	まち美化推進課
61	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	公共下水道事業特別会計繰出事業費	841,993	841,993	0.00	0.00	繰出基準による繰出金/実繰出金額	66	%				2	2	継続	事業を継続する。平成29年4月1日から地方公営企業法の適用を受け、「木津川市公共下水道会計」へ負担金及び補助金として繰出金の支払いを行う。基準外繰入金は世代間の負担の公平性や経営の安定化、下水道の整備促進の観点から必要であるが、下水道水洗化率の向上(未接続世帯の解消)、収納率の向上(督促状・催告状の発送や滞納者に対する納入指導の実施)による歳入増加を図り、基準外繰入金金の圧縮に努める。	下水道課
62	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	公共下水道事業特別会計事業費	1,657,328	1,657,328	12.00	1.00	下水道管渠延長	1	km	水洗化率	94	%	2	2	継続(抜本見直し)	事業を継続(抜本見直し)する。平成29年4月1日から地方公営企業法の適用を受け、「木津川市公共下水道会計」へ移行して事業を継続する。下水道面整備の推進、整備済下水道施設の維持管理及び下水道事業実施に伴う事務を行う。改革プランとして、収納率の向上(滞納者に対する納入指導の強化)による歳入の増加を図る。また、平成30年度末策定予定である「経営戦略」の策定に向け、課題の整理及び検討等を図る。	下水道課
63	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	環境美化事業費	4,716	14,405	1.15	0.10	アダプトプログラム参加人数	2,527	人	除草委託面積	10,809	m ²	2	2	継続	事業を継続する。アダプトプログラムを運営すると共に、空き地の除草指導、不法投棄防止パトロール、木津川を美しくする会への補助等を行う。	まち美化推進課
64	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	建築指導事業費	2,285	14,570	1.50	0.00	建築指導件数	1,276	件	狭あい道路整備件数	4	件	2	2	継続	事業を継続する。権限委譲に対応できるよう、研修等に積極的に参加することにより、職員の知識向上に努める。	都市計画課
65	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	市営住宅維持管理事業費	35,034	65,337	3.70	0.00	市営住宅管理戸数	271	戸	市営住宅入居率(入居戸数/管理戸数)	90	%	2	2	継続	事業を継続する。ストック活用(長寿命化)計画選定基準による建替・用途廃止・維持管理の3つの選定に基づく計画の進捗(平成29年度事業:用途廃止(解体1件)維持管理(外壁改修工事1件))を管理する。	施設整備課
66	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	地区計画道路整備事業費	3,116	6,392	0.40	0.00	事業申請件数	1	件				2	2	継続	事業を継続する。地区計画道路整備に関する基準により、該当者への説明を行う。(用地確保ができた時点で、設計・施工を検討する。)	都市計画課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課				
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	区分	内容
67	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	1	安心・安全、快適なまちづくり	12	快適な暮らしを支える良好な住環境づくり	墓地管理事業費	61,925	72,281	1.00	1.80	一般墓地使用者数		244	人	合葬墓地埋蔵焼骨数		164	体	2	2	継続	事業を継続する。平成28年8月に開設した市営墓地「思いでの丘霊園」の一般墓地の公募及び合葬墓地の使用申請受付許可を行う。また、市営墓地の管理運営を行う。	まち美化推進課
68	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	国保山城病院組合負担金事業費	550,984	551,475	0.06	0.00	受診者数		132,072	人	延べ救急利用者数		11,383	人	2	2	継続	事業を継続する。安定した地域医療を継続的に提供する。	健康推進課
69	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	相楽休日応急診療所運営事業費	7,806	8,461	0.08	0.00	開設日数		70	日	受診者数		818	人	2	2	継続	事業を継続する。相楽休日応急診療所の分担金を支出する。また、広報きづがわに毎月開設予定を掲載する。	健康推進課
70	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	重度心身障害老人健康管理事業費	71,462	80,471	1.10	0.20	受給者数(3月31日現在)		828	人	1人当たりの医療費助成額		85,377	円	2	2	継続	事業を継続する。対象となる障害等級、所得基準及び負担金等について検討する。	国保年金課
71	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	福祉医療費(障害者)助成事業費	123,924	132,933	1.10	0.20	受給者数(3月31日現在)		1,018	人	1人当たりの医療費助成金額		120,309	円	2	2	継続	事業を継続する。対象となる障害等級、所得基準及び負担金等について検討する。	国保年金課
72	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	福祉医療費(ひとり親家庭)助成事業費	57,314	65,504	1.00	0.20	受給者数(3月31日現在)		1,738	人	1人当たりの医療費助成金額		32,182	円	2	2	継続	事業を継続する。	国保年金課
73	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	福祉医療費(子育て)助成事業費	320,738	329,747	1.10	0.20	受給者数(3月31日現在)		12,740	人	1人当たりの医療費助成額		24,355	円	2	2	継続	事業を継続する。現行制度は3歳以上の受給者にかかる外来医療費については3,000円/月を超える額のみが、府の補助対象となっているが、子どもの医療を確保し、健康増進に努めることは社会全体の責務であり、府に対して補助対象となる基準額の引き下げを要望する。	国保年金課
74	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	老人医療助成事業費	92,765	102,184	1.15	0.20	受給者数(3月31日現在)		2,649	人	1人当たりの医療費助成額		32,186	円	2	2	継続	事業を継続する。	国保年金課
75	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	国民健康保険特別会計繰出事業費	556,412	560,917	0.55	0.00	国民健康保険被保険者数		16,443	人	国民健康保険被保険者世帯数		9,222	世帯	2	2	継続	事業を継続する。国保制度の持続かつ安定した運営に向けた保険税率見直しの検討に併せ、一般会計及び国保特別会計の状況とともに、被保険者の状況を踏まえながら、今後の法定外繰入のあり方を検討する。	国保年金課
76	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	後期高齢者医療事業費	648,509	659,156	1.30	0.00	後期高齢者医療被保険者数(3月31日現在)		7,426	人					2	2	継続	事業を継続する。後期高齢者医療制度の安定した運営と高齢者の医療を確保するため、今後も法定の市負担分の事業費支出を継続する。	国保年金課
77	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	国民健康保険特別会計事業	7,825,161	7,896,414	8.70	0.00	国民健康保険被保険者数		16,443	人	国民健康保険被保険者世帯数		9,222	世帯	2	2	継続	事業を継続する。特定健康診査の受診率向上のための未受診者対策や、後発医薬品の利用促進のための差額通知事業を行う。また、生活習慣の改善と特定保健指導の充実に努める。	国保年金課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課				
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	区分	内容
78	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	13	安心して医療をうけられる体制づくり	後期高齢者医療特別会計事業	748,473	764,444	1.95	1.00	後期高齢者医療被保険者数		7,426	人				2	2	継続	事業を継続する。後期高齢者医療制度の安定した運営と高齢者の医療を確保するため、今後も法定の市負担分の事業費支出を継続する。	国保年金課	
79	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	保健衛生事務事業費	9,926	22,539	1.54	0.00	保健だより発行部数		32,500	部				2	2	継続	事業を継続する。市民が健康な生活を送るための施策を継続的に実施する。	健康推進課	
80	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	献血推進事業費	340	4,189	0.47	0.11	実施回数		19	回	延べ献血者数		930	人	2	2	継続	事業を継続する。献血推進協議会委員とともに献血の啓発を行い、新規協力者の拡大に努める。日用品等を配布し継続協力を得る。	健康推進課
81	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	予防接種事業費	204,159	222,177	2.20	0.40	延べ接種回数(A類疾病)		17,100	回	延べ接種回数(B類疾病)		10,367	回	2	2	拡充	風しん助成事業を継続する。また、乳幼児の予防接種については、委託契約医療機関以外での接種に対する償還払い制度の実施を検討する。	健康推進課
82	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	総合がん検診事業費	120,514	143,172	2.75	1.03	集団検診受診者数		7,684	人	申込受診率(受診者/申込者)		85	%	2	2	継続	事業を継続する。昨年度に引き続き、同内容で市民ががん検診を受診できるようにする。	健康推進課
83	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	健康教育相談事業費	385	1,257	0.09	0.07	健康相談実施回数		54	回	健康相談受診者数		2,721	人	2	2	継続	事業を継続する。各保健センター等において、身近な相談窓口として、随時対応できる体制づくりや各事業の機会を利用して相談の拡充を図る。	健康推進課
84	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	健康まつり事業費	283	1,757	0.18	0.02	歯のひろば参加者数		329	人				2	2	継続	事業を継続する。	健康推進課	
85	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	健康増進事業費	4,661	8,179	0.38	0.35	肝炎ウイルス検診受診者数		455	人	骨密度検診受診者数		340	人	2	2	継続	事業を継続する。	健康推進課
86	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	すこやか木津川21プラン実施事業費	103	3,265	0.32	0.20	レシピコンテスト応募件数		467	件	防煙教室参加者数		332	人	2	2	継続	事業を継続する。妊産婦、乳幼児、学齢期、思春期、壮年期、高齢期などあらゆる年齢に対する取り組みを通し、健康意識の向上を図り、健康の保持、増進に努める。	健康推進課
87	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	健康増進計画策定事業費	2,134	6,172	0.46	0.10	アンケート回収率		0	%	計画策定に係る会議		6	回	2	2	終了	5年目の中間評価としての健康増進計画策定は終了となるが、平成32年度に最終アンケート調査、平成33年度に健康増進計画最終評価を実施する予定である。	健康推進課
88	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	きづがわスマートウエルネスシティ健康クラウド事業費	7,327	8,965	0.20	0.00	分析対象者数		16,470	人				2	2	継続	国民健康保険、協会けんぽの給付データに加え、介護保険の給付データも加えた分析を行うとともに、将来予測も行う。	健康推進課	

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標					評価		今後の方向性		所管 課				
	基本方針		施策目標		施策						指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位	事業実施・ 総計推進		コスト削減効率 化事業改善	区分	内容	
89	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	健康づくりPR等研究事業費	1,188	2,990	0.22	0.00	開催回数		5	回			2	2	終了	平成28年度で事業を終了した。	健康 推進 課		
90	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	木津老人福祉センター運営事業費	12,947	14,585	0.20	0.00	開館日数		298	日	延べ利用者数		9,920	人	2	2	継続	事業を継続する。高齢者の健康増進と教養、レクリエーションの場を提供する。	高齢 介護 課
91	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	精神保健事業費	205	3,072	0.35	0.00	事業実施回数		12	回	延べ事業参加者数		42	人	2	2	継続	事業を継続する。精神疾患対象者の社会復帰支援の足掛かりとして窓口相談ケースを事業に結びつける。	健康 推進 課
92	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	山城老人福祉センター運営事業費	3,855	7,791	0.15	1.00	開館日数		241	日	延べ利用者数		6,249	人	2	2	継続	事業を継続する。高齢者の健康増進と教養、レクリエーションの場を提供するために、老人福祉センター運営事業を継続する。	高齢 介護 課
93	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	14	ともに健康でいきいきとしたまちづくり	介護予防安心住まい推進事業費	271	1,090	0.10	0.00	対象者数		3	人			2	2	継続	京都府の10／10の補助事業であり、事業を継続する。京都府の介護保険制度の今後の動向により、京都府の補助金交付要綱に改正があれば検討する。	高齢 介護 課		
94	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	戦没者追悼式事業費	856	3,804	0.36	0.00	追悼式典案内通知者数		726	人	追悼式参加率		29	%	2	2	継続	事業を継続する。戦没者を追悼し、遺族の労をねぎらい、平和を祈念するため戦没者追悼式を実施する。なお、参列者が年々減少しているため、増加に向けた検討を行う。	社会 福祉 課
95	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	民生児童委員活動事業費	12,904	26,909	1.71	0.00	民生児童委員数		138	人	相談及び指導件数		13,127	件	2	2	継続	事業を継続する。民生児童委員としての役割を強化する。また、地域住民に民生児童委員としての活動を理解していただく。	社会 福祉 課
96	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	くらしの資金貸付事業費	452	1,599	0.14	0.00	貸付申請件数		4	件	貸付決定率(貸付決定件数/ 貸付申請件数)		100	%	2	2	継続	事業を継続する。	社会 福祉 課
97	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	各種団体助成事業費	955	2,757	0.22	0.00	補助金交付団体数		9	団体	補助団体会員数		1,047	人	2	2	継続	事業を継続する。各種団体へ適正に補助金を支出する。	社会 福祉 課
98	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	社会福祉協議会補助事業費	65,175	69,352	0.51	0.00	社会福祉協議会会員数		8,986	人	ボランティア登録者数		1,446	人	2	2	継続	事業を継続する。社会福祉協議会の事業内容及び管理運営内容の検証を十分行う。	社会 福祉 課
99	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	緊急通報システム事業費	1,161	2,881	0.21	0.00	設置台数		108	台	緊急通報回数・救急出動回数		15	回	2	2	継続	事業を継続する。システム以外の人的媒体(社会福祉協議会主体の高齢者見守り隊等)を積極的に活用していく必要がある。	高齢 介護 課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課		
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善
100	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	障害者補装具費支給事業費	15,207	19,056	0.47	0.00	助成件数	179	件				2	2	継続	事業を継続する。補装具の購入・修理費を継続して助成することで、身体障害者等の福祉の向上を図る。	社会福祉課
101	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	障害福祉サービス事業費	989,733	996,039	0.77	0.00	延べ障害福祉サービス支給者数	8,308	人	市中心身障害者サービス利用支援事業補助金対象事業所数	17	事業所	2	2	継続	事業を継続する。「障害者総合支援法」の動向に留意し、障害福祉サービスの提供等を行っていく。	社会福祉課
102	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	認定調査等事業費	1,076	5,335	0.52	0.00	認定調査件数	79	件	審査件数	79	件	2	2	継続	事業を継続する。障害者総合支援法第20条第2項及び第3項に基づき、指定一般相談支援事業者等に障害支援区分認定調査の委託を行う。	社会福祉課
103	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	介護保険特別会計繰出事業費	615,722	616,541	0.10	0.00	第1号被保険者数	17,583	人				2	2	継続	事業を継続する。	高齢介護課
104	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	民生委員推薦会事業費	537	7,417	0.84	0.00	会議開催回数	2	回	推薦者決定者数	138	人	2	2	継続	現任委員に欠員が生じない場合は開催しない。	社会福祉課
105	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	社会を明るくする運動事業費	123	3,235	0.38	0.00	街頭啓発箇所数	6	箇所	延べ活動参加者数	46	人	2	2	拡充	事業を継続する。準備会および社明推進委員会を開催する。のぼり旗は市内駅・市役所・社協周辺に約30本、市内公立小中学校、高等学校に40本を、7月に1か月間設置する。また、JR駅3箇所、商業施設1箇所でグッズの配布等の街頭啓発を実施する。	社会福祉課
106	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	障害児通所支援(児童発達支援)事業費	6,979	10,009	0.37	2.00	相楽療育教室開園日数	243	日	相楽療育教室通所幼児数	50	人	2	2	継続	事業を継続する。入所希望者が年々増加しており、選考委員会で通所者を決定しているが、希望者全員が通所できる体制づくりを推進する。	社会福祉課
107	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	在宅福祉支援事業費	1,619	3,339	0.21	0.00	軽度生活援助ヘルパー事業利用者数	13	人	ふとん水洗い乾燥サービス事業利用者数	34	人	2	2	継続	事業を継続する。高齢者が在宅で衛生的かつ安定的な生活を行うためには必要な事業である。	高齢介護課
108	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	成年後見制度利用支援事業費(障害者)	312	2,523	0.27	0.00	申立者数	0	人	支援事業利用者数	1	人	2	2	継続	事業を継続する。	社会福祉課
109	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	軽・中等度難聴児支援事業費	74	1,466	0.17	0.00	助成人数	1	人	助成金額	73,918	円	2	2	継続	事業を継続する。広報等には掲載済みである。	社会福祉課
110	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	障害児通所サービス事業費	224,756	231,554	0.83	0.00	延べ障害児通所サービス支給者数	4,287	人				2	2	継続	事業を継続する。児童福祉法の動向に留意し、障害児通所サービスの提供等を行っていく。なお、支給については、「木津川市障害児通所給付支給決定基準」を要領として定め、適切な決定を行う。(国通知を踏まえ、平成29年4月1日改正)	社会福祉課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課				
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	区分	内容
111	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	臨時福祉給付金事業費	4,175	4,175		3.20	臨時福祉給付金支給対象者		0	人				2	2	終了		社会福祉課	
112	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	生活困窮者自立支援事業費	7,988	27,735	1.75	2.00	支援プラン作成件数		7	件				2	2	継続	事業を継続する。生活困窮者自立のため、各種課題への取り組みを強化し、幅広い支援を行う。	くらしサポート課	
113	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	低所得の高齢者向け臨時福祉給付金事業費	113,609	115,820	0.27	2.00	平成28年度木津川市年金生活者等支援臨時福祉給付金(高齢者向け)		3,571	人				2	2	終了		社会福祉課	
114	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	臨時福祉給付金及び年金生活者等支援臨時福祉給付金事業費	37,088	39,299	0.27	2.00	平成28年度木津川市臨時福祉給付金対象者		6,111	人	平成28年度木津川市年金生活者等支援臨時福祉給付金(障害・遺族基礎年金受給者向け)		216	人	2	2	終了		社会福祉課
115	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	介護ロボット等導入支援事業費	3,901	4,311	0.05	0.00	補助金交付実績		3,901,000	円				2	2	終了		高齢介護課	
116	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	介護保険特別会計事業	4,198,691	4,340,309	16.30	15.00	介護保険第1号被保険者数		17,583	人	要介護(要支援)認定者数		2,761	人	2	2	継続	事業を継続する。特別養護老人ホームの施設設置や総合事業の取り組み等、第7次木津川市高齢者福祉計画・第6期木津川市介護保険事業計画で策定した事業を進める。第8次木津川市高齢者福祉計画・第7期木津川市介護保険事業計画を策定する。	高齢介護課
117	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	老人ホーム入所措置事業費	17,197	19,654	0.30	0.00	入所者数		9	人				2	2	継続	事業を継続する。高齢化率の上昇に伴い、高齢者虐待や在宅での生活が困難な高齢者の増加が予測される。	高齢介護課	
118	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	高齢者福祉センター建設事業費	18,246	18,328	0.01	0.00	補助施設数		2	施設	補助施設における特別養護老人ホーム定員数		100	人	2	2	継続	事業を継続する。(協定書に基づく)	高齢介護課
119	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	相楽デイセンター施設整備償還金補助事業費	1,646	3,038	0.17	0.00	償還団体数		1	団体				2	2	継続	事業を継続する。(平成29年度まで償還補助)	社会福祉課	
120	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	山城病院介護老人保健施設負担金事業費	56,359	56,441	0.01	0.00	負担金支払団体数		1	団体				2	2	継続	事業を継続する。構成市町村覚書により負担金の支出を行う。また、介護老人保健施設やましろに対しては、経営状況の安定化を求めていく。	高齢介護課	
121	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	在宅医療・介護連携推進事業費	500	6,233	0.70	0.00	山城南地域包括ケアネットワーク会議		4	回	医療・介護連携、研修・講演会、住民啓発ワーキンググループ実施		16	回	2	2	継続	事業を継続する。(ア)web媒体として作成したホームページ「山城南つながるねっと」の周知と活用方法を検討する。(イ)既存の多職種連携ネットワーク会議(きづがわネット)と山城南包括ケアネットワーク(病院、行政機関実務者会議)において、在宅医療・介護連携の課題や体制に関する検討を行う。(ウ)多職種連携や住民啓発の講演会に必要な情報として、ワーキンググループにおいて地域のニーズや情報を集約する。(エ)医療・介護関係者の情報共有の支援(オ)今年度中に相談業務を開始する。(カ)医療・介護関係者の研修(キ)地域住民への普及啓発(ク)在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	高齢介護課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課				
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	区分	内容
122	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	社会福祉庶務事業費	1,873	5,231	0.41	1.00	社会福祉課職員数		13	人			2	2	継続	事業を継続する。市職員及び市民を対象とし、ゲートキーパー養成研修を実施する。また、メンタルヘルスチェックシステム「こころの体温計」の利用者の増加のため積極的な広報を行う。	社会福祉課		
123	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	15	すべての市民がともに暮らす地域福祉の充実	認知症対応型カフェ事業費	590	7,961	0.90	0.00	木津、加茂圏域(直営)、山城圏域(委託)参加者数		224	人			2	2	継続	事業を継続する。地域の人、関係者がカフェの存在を周知していくことが、初期の人と出会える機会になる。そのため、広報、関係者への周知、地域のボランティアグループの参加を促していく。【平成29年度～地域支援事業:介護保険特別会計で計上】	高齢介護課		
124	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	障害福祉事務事業費	31,731	33,533	0.22	0.00	補助金交付団体数		4	団体	補助金交付団体会員数		588	人	2	2	継続	事業を継続する。補助金「相楽郡ろうあ協会」総会が5年に1回のため、平成29年度の事業実施はない。	社会福祉課
125	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	障害者スポーツ大会事業費	114	3,144	0.37	0.00	開催日数		1	日	参加者数		104	人	2	2	継続	事業を継続する。参加者増加につなげるとともに、一般の方と交流できるイベントとして計画する。今年度については、毎年の開催場所である中央体育館が工事の為使用できず、木津川市立相楽台小学校にて開催する。	社会福祉課
126	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	障害者自立支援医療(更生)費支給事業費	52,117	55,147	0.37	0.00	支給決定者数		196	人			2	2	継続	事業を継続する。	社会福祉課		
127	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	障害者福祉タクシー利用券交付事業費	3,881	6,911	0.37	0.00	交付申請者数		577	人	申請率(交付申請者/対象者)		59	%	2	2	継続	事業を継続する。広報やホームページへの掲載等により周知の徹底を図るよう努めるとともに、対象者の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進のため適切な支給決定を行う。	社会福祉課
128	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	障害者福祉サービス等利用支援事業費	839	3,050	0.27	0.00	延べ対象者数		819	人			2	2	継続	事業を継続する。	社会福祉課		
129	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	障害者地域生活支援事業費	101,975	109,100	0.87	0.00	障害者一時支援助成費支給者数		121	人	障害者移動支援助成費支給者数		142	人	2	2	継続	事業を継続する。	社会福祉課
130	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	重度障害児(者)在宅生活支援事業費	1,111	2,503	0.17	0.00	対象重度障害児(者)数		2	人	補助対象施設数		2	施設	2	2	継続	事業を継続する。府制度の動向に留意し、今後の制度の方向性を定める。	社会福祉課
131	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	障害者自立支援医療(育成)費支給事業費	2,206	4,417	0.27	0.00	支給決定者数		47	人			2	2	継続	事業を継続する。	社会福祉課		
132	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	老人福祉事務事業費	734	1,225	0.06	0.00	ヘルストロン管理台数		4	台	ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯を励ます会参加者数		335	人	2	2	継続	事業を継続する。ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯を励ます会事業補助金を精査し、ひとり暮らし高齢者の生きがいづくりの一助となる効果的な事業運営を、昨年度に引き続き促していく。また、ヘルストロン設置事業は、利用者の状況を見ながら効率的な管理運営に向けて精査を行っていく。	高齢介護課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課		
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善
133	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	敬老会事業費	11,872	20,881	1.10	0.00	対象者数	8,266	人	参加者数	1,622	人	2	2	継続	事業を継続する。検討委員会において、年々増加する高齢者(対象者)を背景に、敬老会の実施方法や実施場所等について、計画的な見直し方針を立てる。また、参加者増加のため、改善を図る取組み(ニーズ調査・参加型催事)を継続しながら、地元による敬老会等の実施検討も行う。	高齢介護課
134	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	老人クラブ活動助成事業費	6,430	8,232	0.22	0.00	会員数	4,624	人	加入率(クラブ会員数/高齢者人口)	21	%	2	2	継続	事業を継続する。高齢者の健康増進、生きがいづくりや仲間づくりが活性化するように、老人クラブに対し補助金を交付する。組織の拡充と活動の拡大が促進するよう、継続して支援していく。	高齢介護課
135	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	介護予防サポーター養成事業費	771	4,866	0.50	0.00	介護予防サポーター養成講座修了者	58	人				2	2	継続	事業を継続する。自宅から歩いて行ける集いの場での体操の実施を広げていくため、次年度も介護予防サポーターの養成を実施していく。	高齢介護課
136	3	誰もが安心して暮らせる福祉都市の創造	2	ともに支えあう地域福祉の充実	16	障害者の自立支援と高齢者の生きがい対策の充実	シルバー人材センター事業費	16,115	16,934	0.10	0.00	会員数	404	人	延べ就業人員	38,936	人	2	2	継続	事業を継続する。事業開拓による就業機会の確保と拡大及び会員の増加に向けた運営について、事務局と協議を行いながら補助金を支出していく。	高齢介護課
137	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	母子福祉推進事業費	6,600	10,449	0.47	0.00	助産施設・母子生活支援施設入所者数	6	人	高等職業訓練者数	2	人	2	2	継続	事業を継続する。高等職業訓練促進費等給付金支給事業とは、就職に有利な資格(看護師、保育士、介護福祉士など)を得るため、養成機関で修学する場合に、一定の給付金を支給する。	こども宝課
138	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	遺児福祉手当支給事業費	974	2,776	0.22	0.00	受給者数	34	人				2	2	継続	事業を継続する。父親や母親が不慮の災害、疾病、交通事故などで死亡した家庭の義務教育終了前の児童を養育している保護者に、手当を支給する。	こども宝課
139	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	乳幼児健診事業費	7,856	26,515	2.08	2.50	健診実施回数	114	回	健診受診者数	3,475	人	2	2	継続	事業を継続する。研修参加等で健診従事者の質の向上を図る。	健康推進課
140	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	乳幼児発達相談事業費	161	11,988	0.75	3.06	乳幼児健康相談実施回数	36	回	延べ相談者数	1,149	人	2	2	継続	事業を継続する。対象者に適切な支援ができるよう、保健師だけでなく、他職種との連携を図る。	健康推進課
141	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	妊婦健康診査事業費	53,179	56,046	0.35	0.00	健診受診券発券者数	674	人	延べ健診助成件数	16,364	件	2	2	継続	事業を継続する。また、里帰り出産等で委託契約医療機関以外での受診に対する償還払いの実施も継続する。	健康推進課
142	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	母親教室事業費	434	5,156	0.56	0.07	延べ教室実施回数	17	回	延べ参加者数	210	人	2	2	継続	事業を継続する。講座の休日実施を継続し、参加しやすい環境づくりを行う。	健康推進課
143	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	不妊治療給付事業費	5,856	7,494	0.20	0.00	給付者数	274	件	1件あたりの助成金額	21,294	円	2	2	継続	事業を継続する。本人負担額の1/2以内で、1年度につき限度額まで市から助成する。制度は定期的な広報掲載及び母子手帳発行時等の周知を行う。	健康推進課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課		
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 向上事業改善
144	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	母子保健事業費	219	17,240	1.88	1.76	母子手帳発行部数・マタニティマーク配布数	612	個				2	2	継続	事業を継続する。母子手帳発行やマタニティマーク配布の際、母子の健康に役立てていただけるように、記載項目や注意事項などの説明を行う。	健康 推進 課
145	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	未熟児養育医療給付事業費	8,466	10,104	0.20	0.00	給付件数	19	人	給付総額	8,163,881	円	2	2	継続	事業を継続する。入院養育を必要とする未熟児の保護者を支援する。	健康 推進 課
146	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	未熟児訪問事業費	6	3,692	0.45	0.00	延べ訪問者数	13	人	延べ訪問件数	13	件	2	2	継続	事業を継続する。未熟児・低体重児訪問体制を充実させる。	健康 推進 課
147	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	地域子育て支援拠点事業費	7,166	9,951	0.34	0.00	設置箇所数	3	箇所	延べ利用者数(延べ親子数)	19,646	組	2	2	継続	事業を継続する。閉所日(火・木曜日)の有効利用を検討する。	こども 宝課
148	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	子ども・子育て会議事業費	274	4,287	0.49	0.00	木津川市子ども・子育て会議開催回数	3	回	内部検討会議開催回数	3	回	2	2	継続	事業を継続する。「木津川市子ども・子育て支援事業計画」の進捗状況の確認や点検、課題の整理、対応の推進を図る。	こども 宝課
149	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	ファミリー・サポート・センター事業費	2,407	3,472	0.13	0.00	登録者数	163	人	延べ利用回数	701	回	2	2	継続	事業を継続する。育児の補助を受けたい者と育児の援助を行いたい者との会員相互の運営によるファミリーサポートセンター事業を実施することにより、仕事と家庭の両立を支援し、安心して子育てができるための環境整備を図る。	こども 宝課
150	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	木津子育て支援センター事業費	785	12,665	1.12	1.00	開設日数	246	日	延べ利用者数	5,804	人	2	2	継続	事業を継続する。親子教室(折り紙遊び、七夕のつどい、水・泥んこ遊び、親子運動あそび等)、子育て講座、育児講座、子育て相談、出前保育、園庭開放などを開催する。また、情報誌「なかよしキッズだより」を発行する。	こども 宝課
151	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	加茂子育て支援センター事業費	119	3,399	0.07	1.00	開設日数	246	日	延べ利用者数	3,432	人	2	2	継続	事業を継続する。一緒に遊ぼう、おはなし会、ふれあい遊び、おたのしみ会、育児講座、子育て相談、出前保育、園庭開放などを開催する。	こども 宝課
152	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	山城子育て支援センター事業費	195	8,958	1.07	0.00	開設日数	246	日	延べ利用者数	1,695	人	2	2	継続	事業を継続する。あそびのひろば(おもちゃで遊ぼう、季節の制作、折り紙、ふれあい遊び、おはなし会など)、子育て講座、子育て相談、出前保育、園庭開放などを開催する。また、情報誌「あそびのひろばだより」を発行する。	こども 宝課
153	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	木津児童館運営事業費	3,799	15,024	1.04	1.00	開館日数	293	日	延べ利用者数	7,564	人	2	2	継続	事業を継続する。児童健全育成にかかる児童館運営及び施設管理を適正に行う。	こども 宝課
154	4	豊かな心を育む教育・文化の創造	1	子どもを安心して産み健やかに育てられる環境づくり	17	安心して、楽しみながら子育てができる支援の充実	小谷児童館運営事業費	2,898	10,840	0.54	1.60	開館日数	293	日	延べ利用者数	3,907	人	2	2	継続	事業を継続する。建物の耐震診断の結果を受けて、利用者の安全確保のため一時移転を実施する。	こども 宝課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業職 員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課
	基本方針		施策目標		施策						指標項目1	数値	単位	指標項目2	数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	区分	内容	
155	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	17 安心して、楽 しみながら子 育てができ る支援の充 実	木津地域交流活性化支援事業費	2,011	13,072	1.02	1.00	児童交流事業及び人権学習 等の実施事業日数	71	日	児童交流事業及び人権学習 等の実施事業の延べ参加者 数	1,450	人	2	2	継続	事業を継続する。連続教室及び体験学習等を行う。	こども 宝課
156	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	17 安心して、楽 しみながら子 育てができ る支援の充 実	加茂地域交流活性化支援事業費	596	8,374	0.52	1.30	事業実施日数	55	日	延べ事業参加者数	891	人	2	2	継続	事業を継続する。連続教室及び体験学習等を行う。	こども 宝課
157	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	17 安心して、楽 しみながら子 育てができ る支援の充 実	放課後児童健全育成事業費	134,253	146,948	1.55	45.00	市内全児童クラブ利用者数 (4月1日現在)	1,067	人	利用率(市内全利用者/市内 全施設定員)	97	%	2	2	拡充	事業を拡充する。上狛・棚倉児童クラブの建て替え工事を 進める。また、使用料滞納対策は児童手当から徴収する。 城山台児童クラブを1クラスから2クラスに増設する。	こども 宝課
158	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	17 安心して、楽 しみながら子 育てができ る支援の充 実	京のまなび教室推進事業費	2,598	5,721	0.15	0.70	開設箇所数	6	箇所	延べ参加者数	5,790	人	2	2	拡充	事業を拡充する。「木津川市子ども・子育て支援事業計画」 に基づき、平成31年度までに、一体型の放課後児童クラブ 及び放課後子ども教室の50%整備を目指す。また、平成30 年度に新たに1校区での開設に向けて、平成29年度に推進 協議を行う。	社会 教育 課
159	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	18 保育サービ スの充実	保育所運営事務事業費	343,445	365,312	2.67	149.50	市内全保育所入所定員数	2,268	人	待機児童数	36	人	2	2	継続	事業を継続する。保育ニーズに対応した園運営及び施設管 理を適正に行う。特に老朽化による安全面の確保には迅速 な対応に努める。民設保育園については平成29年度から認 定こども園に移行され、引き続き、適正な園運営について管 理指導を行う。	こども 宝課
160	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	18 保育サービ スの充実	病児・病後児保育事業費	1,167	2,150	0.12	0.00	延べ利用者数	23	人				2	2	継続	事業を継続する。必要とされるサービスとして定着化するよ う、病児保育の周知を行う。	こども 宝課
161	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	18 保育サービ スの充実	地域型保育給付事業費	1,786	2,359	0.07	0.00	事業所内保育入所児童数	3	人				2	2	継続	事業を継続する。事業名を「施設型給付地域型保育給付事 業費」に転換し、給付を行う。	こども 宝課
162	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	18 保育サービ スの充実	保育所児童入所委託事業費	979,522	990,742	1.37	0.00	私立保育園定員数	1,111	人	利用率(在籍児童数/定員)	101	%	2	2	継続	民間7園の認定こども園への移行に伴い、事業名を「施設型 給付地域型保育給付事業費」に転換し、事業を継続する。	こども 宝課
163	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	18 保育サービ スの充実	保育所運営補助事業費	122,723	133,124	1.27	0.00	補助金対象保育園定員数	1,111	人	利用率(在籍児童数/定員)	101	%	2	2	継続	子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、事業名を「特定 教育・保育施設運営補助事業費」に転換し、事業を継続す る。	こども 宝課
164	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	18 保育サービ スの充実	民間保育所等施設整備補助事業 費	249,902	253,997	0.50	0.00	市内全保育所入所定員数	2,268	人	待機児童数	36	人	2	2	継続	事業を継続する。社会福祉法人が行う保育所等の施設整 備に対する補助を行う。	こども 宝課
165	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安 心して産み 健やかに育 てられる環 境づくり	19 児童虐待等 の防止	児童福祉事務事業費	11,884	18,682	0.83	2.00	相談件数	218	件				2	2	継続	事業を継続する。家庭児童相談室では、子どもに関すること、 育児や子育てに関すること、ひとり親家庭に関すること、 子ども虐待に関することなどについての相談に応じている。	こども 宝課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課	
	基本方針		施策目標		施策						指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効果 率改善		区分
166	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	1	子どもを安心して産み 健やかに育てられる環 境づくり	19	児童虐待等 の防止	要保護児童対策地域協議会運営 事業費	60	7,922	0.96	0.00	研修会開催回数	3	回	児童虐待の対応件数(継続 含む)	136	件	2	2	継続	事業を継続する。木津川市人権研修・実務者研修会等の中 で、児童虐待をテーマとした研修を継続する。	こども 宝課
167	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可能性を伸ば す教育の充実と地域連 携	20	子どもの教育環境の充 実	学校管理事業費	45,505	46,652	0.14	27.00	市立小学校児童数	5,342	人	市立小学校教師数	306	人	2	2	継続	事業を継続する。市立全小学校の管理運営を行う。用務 員、給食配膳員の賃金、スクールバス借上料、タクシー使 用料等を支出する。	学校 教育 課
168	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可能性を伸ば す教育の充実と地域連 携	20	子どもの教育環境の充 実	学校管理事業費	19,170	20,235	0.13	10.00	市立中学校生徒数	2,276	人	市立中学校教師数	149	人	2	2	継続	事業を継続する。市立全中学校の管理運営を行う。用務 員、給食配膳員の賃金、タクシー使用料等を支出する。	学校 教育 課
169	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可能性を伸ば す教育の充実と地域連 携	20	子どもの教育環境の充 実	木津学校給食センター管理運営事 業費	148,589	158,258	0.85	1.00	延べ喫食数	803,198	食	給食費徴収率	100	%	2	2	継続	事業を継続する。学校給食の提供体制を見極め、学校給食 の安定供給を図る。	学校 教育 課
170	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可能性を伸ば す教育の充実と地域連 携	20	子どもの教育環境の充 実	山城学校給食センター管理運営事 業費	25,799	44,817	1.00	13.00	延べ喫食数	167,009	食	給食費徴収率	100	%	2	2	継続	事業を継続する。学校給食の提供体制を見極め、学校給食 の安定供給を図る。	学校 教育 課
171	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可能性を伸ば す教育の充実と地域連 携	20	子どもの教育環境の充 実	(仮称)新学校給食センター建設事 業費	141,338	152,804	1.40	0.00	学校給食センター施設のあり 方庁内連絡会議開催回数	1	回				2	2	継続	事業を継続する。新学校給食センター建設に伴う設計業務 等を行う。 (仮称)新学校給食センター用地除草工事	学校 教育 課
172	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可能性を伸ば す教育の充実と地域連 携	20	子どもの教育環境の充 実	加茂学校給食センター管理運営事 業費	118,190	129,087	1.00	1.00	延べ喫食数	526,979	食	給食費徴収率	98	%	2	2	継続	事業を継続する。学校給食の提供体制を見極め、学校給食 の安定供給を図る。	学校 教育 課
173	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可能性を伸ば す教育の充実と地域連 携	21	子どもの可能性を伸ば す教育の推進	カウンセリングルーム設置事業費	3,038	3,529	0.06	0.00	開催日数	93	日	相談件数	522	件	3	2	拡充	事業を拡充する。カウンセリングの必要な全ての児童・生 徒・保護者が相談を受けられるようにする。	学校 教育 課
174	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可能性を伸ば す教育の充実と地域連 携	21	子どもの可能性を伸ば す教育の推進	心の教育相談員設置事業費	1,494	1,985	0.06	0.00	開催日数	294	日	相談件数	1,436	件	2	2	継続	事業を継続する。相談員を設置し、生徒の心身の健全な育 成に努める。	学校 教育 課
175	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可能性を伸ば す教育の充実と地域連 携	21	子どもの可能性を伸ば す教育の推進	学校図書館情報化・活性化推進事 業費	6,026	7,746	0.21	0.00	実施学校数	18	校	利用者数	7,600	人	2	2	継続	事業を継続する。今後は、小中学校に導入したシステムの 活用を図り、学校図書館情報化・活性化推進事業を充実し ていく。	学校 教育 課
176	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可能性を伸ば す教育の充実と地域連 携	21	子どもの可能性を伸ば す教育の推進	育英資金交付事業費	4,230	5,950	0.21	0.00	育英資金申請件数	144	件	交付決定率(交付者数/申請 者数)	97	%	2	2	継続	基金の減少に伴い、交付対象を高等学校等の入学時のみ とし、事業を継続する。寄附への協力依頼を行う。	学校 教育 課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業職 員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標					評価		今後の方向性		所管 課	
	基本方針		施策目標		施策						指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位	事業実施・ 総計推進		コスト削減効率 化事業改善
177	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	9,177	12,785	0.11	5.00	開催日数	189	日	延べ利用件数	625	件	2	2	継続	事業を継続する。指導員を1日5人から6人へ増員し、指導体制を継続する。	学校 教育 課
178	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	1,986	6,245	0.52	0.10	年長児及び転入予定児数(10 月1日現在)	860	人	就学時健診受診者数	851	人	2	2	継続	事業を継続する。平成29年度においては、前年度の実績を生かし、より事業がスムーズに進むよう努める。	学校 教育 課
179	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	941	10,782	0.21	3.00	語学指導助手招致人数	3	人	語学指導助手授業数	1,194	授業	2	2	継続	事業を継続する。JETプログラムを利用して、ALTを活用し英語教育の充実と国際理解の推進を図る。	学校 教育 課
180	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	1,585	2,486	0.11	0.00	相談件数	840	件	障害克服児童数	51	人	2	2	継続	事業を継続する。継続的に指導方法や教材の工夫・研究を推進する。	学校 教育 課
181	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	48,631	50,515	0.23	22.00	市立小中学校の児童・生徒 数	7,618	人				2	2	継続	事業を継続する。引き続き学校教育の充実を図り、児童の学力向上及び体力向上に取り組む。	学校 教育 課
182	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	50,747	53,695	0.36	0.00	市立小中学校児童・生徒及び 教職員数	8,200	人	学校健診受診者数	8,100	人	2	2	継続	事業を継続する。児童・生徒の健やかな成長を促す。	学校 教育 課
183	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	40,105	41,825	0.21	0.00	支給者数	664	人				2	2	継続	事業を継続する。経済的な理由により就学が困難となる児童を極力減らす。また、事務の効率化のため、認定及び支給業務の一括管理ができるシステムの構築を検討する。	学校 教育 課
184	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	38,274	39,994	0.21	0.00	支給者数	378	人				2	2	継続	事業を継続する。経済的な理由により就学が困難となる生徒を極力減らす。また、事務の効率化のため、認定及び支給業務の一括管理ができるシステムの構築を検討する。	学校 教育 課
185	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	1,000	1,901	0.11	0.00	認定校数	12	校				2	2	継続	事業を継続する。各校の優れた取組みを他校にも紹介して広げるため、各学校が事業計画のプレゼンテーションを行い、採択の判断を行う。	学校 教育 課
186	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	10,112	11,013	0.11	0.00	市立小学校児童数	5,342	人				2	2	継続	事業を継続する。	学校 教育 課
187	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	12,027	13,010	0.12	0.00	市立中学校生徒数	2,276	人				2	2	継続	事業を継続する。	学校 教育 課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課			
	基本方針		施策目標		施策						指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善		区分	内容	
188		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	教育支援委員会事業費	442	2,287	0.06	0.50	対象人数(5歳児)		395	人					2	2	継続	事業を継続する。小・中学校入学予定者の適正な就学支援を目的とする。	学校 教育 課
189		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	ステップアップ学習事業費	741	1,642	0.11	0.00	延べ参加者数		335	人					2	2	継続	事業を継続する。生徒の基礎学力及び学習意欲の向上を目的とする。	学校 教育 課
190		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	ICT教育推進事業費	34,517	35,090	0.07	0.00	ICT教育機器整備台数		62	台					3	2	拡充	事業を拡充する。全中学校の全普通教室に導入を拡大するため、今後2か年かけてICT機器を導入する。平成29年度は、25台整備する。	学校 教育 課
191		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	ホップアップ学習事業費	1,577	2,478	0.11	0.00	参加人数		768	人					2	2	継続	事業を継続する。昨年度同様、小学校3年生からを対象として、より早い時期からの基礎学力の充実を図っていく。	学校 教育 課
192		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	スクールカウンセラー設置事業費	3,520	4,011	0.06	0.00	開催日数		89	日	相談件数		321	件	3	2	継続	事業を継続する。カウンセリングの必要なすべての児童・生徒・保護者が相談を受けられるようにし、心身ともに健全な児童を育成する。	学校 教育 課
193		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	幼稚園バス運行事業費	26,075	26,566	0.06	0.00	通園バス利用園児数		267	人	通園バス利用率(バス利用者 ／園児数)		52	%	2	2	継続	事業を継続する。バスルート等の効率化を検討する。	学校 教育 課
194		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	幼稚園就園奨励事業費	55,873	59,313	0.42	0.00	交付者数		458	人					3	2	拡充	事業を拡充する。平成29年度においてもさらに市町村民税所得割課税額77,100円以下の多子世帯・ひとり親世帯等への補助を拡充する。	学校 教育 課
195		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	幼稚園保健事業費	2,437	2,765	0.04	0.00	園児数		514	人	園医一人当たり受持ち園児 数(園児数/園医数)		89	人	2	2	継続	事業を継続する。内科検診及び歯科検診を実施する。	学校 教育 課
196		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	「もうすぐ1年生」体験入学推進事業費	883	1,784	0.11	0.00	小学校入学予定者数		817	人	体験入学等事業参加幼児数		869	人	2	2	継続	事業を継続する。事業は全小学校において取り組む。	学校 教育 課
197		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	特定教育施設事業費	29,512	29,840	0.04	0.00	認定こども園1号認定者		6	人					2	2	継続	事業を継続する。事業名を「施設型給付地域型保育給付事業費」に転換し、給付を行う。	こども 宝課
198		豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21	子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	「KYO発見 仕事・文化体験活動」 推進事業費	1,019	2,739	0.21	0.00	延べ事業活動日数		89	日	体験学習等実施学級数		52	学級	2	2	継続	事業を継続する。働くことの喜びと大変さや重要さを学べるように、体験学習を継続する。	学校 教育 課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業職 員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課
	基本方針		施策目標		施策						指標項目1	数値	単位	指標項目2	数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	区分	内容	
199	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	21 子どもの可 能性を伸ば す教育の推 進	社会教育事務事業費	7,600	12,514	0.60	0.00	国際交流協会会員数	117	人	文化協会会員数	1,180	人	2	2	継続(抜 本見直 し)	事業を継続する。社会教育関係団体が事業を円滑に実施 できるよう取組んでいく。また、市民の自主的・自発的な芸 術文化活動の促進及びスポーツの競技力向上を図るため、 全国大会・世界大会等に出場・出品した個人・団体に激励 金を支給する。	社会 教育 課
200	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	22 学校・家庭・ 地域の連携 による健や かな子ども の成長の推 進	青少年健全育成事業費	3,546	7,678	0.25	0.77	青少年育成委員会事業回数	17	回	子ども会会員数(補助金交付 団体内)	1,945	人	2	2	継続	事業を継続する。青少年育成委員会事業は、各委員に主体 的に関わるように方向付けていく。また、かも野外音楽フェ スタでは、参加者が主体的に関わるように方向付けていく。	社会 教育 課
201	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	22 学校・家庭・ 地域の連携 による健や かな子ども の成長の推 進	成人式事業費	1,513	6,427	0.60	0.00	実行委員会打合せ回数	5	回	成人式参加者数	457	人	2	2	継続	事業を継続する。実行委員会を組織し、新成人が企画・運 営・準備等に参画する体制づくりを行う。また、地域全体で 新成人を祝福する体制をつくる。平成29年度中の中央体育 館の屋根改修工事により、けいはんなホールに会場変更す る。	社会 教育 課
202	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	22 学校・家庭・ 地域の連携 による健や かな子ども の成長の推 進	地域で支える学校教育推進事業費	2,431	7,944	0.65	0.07	開設箇所数	5	箇所	延べ参加者数	2,357	人	2	2	継続	事業を継続する。中学校区ごとに学校支援を円滑に実施で きるよう、体制を整備する。	社会 教育 課
203	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	2	一人ひとりの 子どもの可 能性を伸ば す教育の充 実と地域連 携	22 学校・家庭・ 地域の連携 による健や かな子ども の成長の推 進	安全対策事業費	10,688	12,408	0.21	0.00	機械警備配置校・園数	16	校・ 園	小中学生を狙った犯罪の発 生件数(不審者情報)	19	件	2	2	継続	事業を継続する。児童・生徒の安全確保のために、行政と 学校、地域が連携して取り組みを進める。	学校 教育 課
204	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23 生涯学習の 推進と環境 づくり	社会教育委員事業費	385	4,890	0.55	0.00	委員会開催回数	18	回				3	2	拡充	事業を拡充する。①生涯学習推進計画年次計画を実践し、 計画の推進を図る。②社会教育施設関係条例、規則、使用 料等の改定に向けた検討を継続する。③他市社会教育委 員の取り組みを研究し、当市社会教育委員会の取組強化を 図る。	社会 教育 課
205	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23 生涯学習の 推進と環境 づくり	女性教育事業費	455	1,948	0.06	0.37	補助金交付団体数	1	団体	会員数(女性の会)	89	人	2	2	継続	事業を継続する。木津川市女性の会が女性の地位向上等 の発展に寄与できるように取り組んでいく。	社会 教育 課
206	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23 生涯学習の 推進と環境 づくり	生涯学習推進事業費	608	7,570	0.85	0.00	延べ発行部数	5,000	部				2	2	継続(抜 本見直 し)	平成29年度は取組計画はない。	社会 教育 課
207	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23 生涯学習の 推進と環境 づくり	高齢者教育事業費	5,962	8,266	0.05	0.70	事業実施回数	14	回	延べ事業参加者数	1,872	人	2	2	継続	事業を継続する。平成27年度に実施された事業仕分けの結 果から平成28年度運営委員会で検討する中で、平成29年 度は参加者の少ない夏期講座と教養講座を廃止し、6講座 から4講座とする。平成29年度は、事業を実施しながら、運 営委員会において事業内容の充実や運営方法の検討を進 めていく。	社会 教育 課
208	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23 生涯学習の 推進と環境 づくり	交流会館管理事業費	34,958	39,032	0.20	5.10	延べ利用者数	94,792	人				2	2	継続	事業を継続する。自主事業の実施等、各種事業の実施で収 入増加を図るとともに、利用者サービスの向上等で利用者 数の増加を図る。	社会 教育 課
209	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23 生涯学習の 推進と環境 づくり	公民館運営事業費	1,487	3,200	0.11	0.30	延べ利用者数	24,412	人				2	2	継続	事業を継続する。公民館の適切な配置について、社会教育 委員会において検討していく。公民館2館の良好な利用環 境整備を行う。	社会 教育 課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)						事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課
	基本方針		施策目標		施策							指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効果 率 事業改善	
210	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	公民館事業費	4,448	8,668	0.35	0.50	講座開設数	60	講座	延べ講座実施日数	256	日	2	2	継続	事業を継続する。「公民館講座」「市民講座」「生涯学習講座」の充実により学習機会の拡大を図る。	社会 教育 課
211	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	加茂図書館運営事業費	14,972	23,304	0.70	5.52	蔵書数	74,165	冊	延べ利用者数	43,237	人	2	2	継続	事業を継続する。市民に役立つ図書館を目指し、資料の収集・貸出を中心に図書館サービスを推進する。	社会 教育 課
212	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	山城図書館運営事業費	12,026	20,499	0.40	4.93	蔵書数	98,815	冊	延べ利用者数	33,264	人	2	2	継続	事業を継続する。市民に役立つ図書館を目指し、資料の収集・貸出を中心に図書館サービスを推進する。	社会 教育 課
213	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	図書館協議会事業費	211	5,944	0.70	0.00	開催回数	3	回				2	2	継続	事業を継続する。今後の市立図書館のあり方と将来像について明確にし、特色ある図書館づくりについて協議を進める。	社会 教育 課
214	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	青少年センター運営事業費	1,793	2,203	0.05	0.00	開館日数	300	日	延べ利用者数	8,775	人	2	2	継続	事業を継続する。利用者が安全、快適に利用できるよう施設の維持管理、運営を行う。平成29年6月から平成31年度末まで、小谷児童館がいこいの部屋、ふれあい室に一時移転する。	社会 教育 課
215	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	加茂文化センター管理運営事業費	34,606	37,063	0.30	0.00	開館日数	291	日	延べ利用者数	46,225	人	2	2	継続	事業を継続する。指定管理者の管理運営の状況を把握し、施設の設置目的が達成されるように指導監督を行う。	社会 教育 課
216	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	プラネタリウム館事業費	410	2,853	0.10	0.95	事業実施回数	35	日	延べ事業参加者数	1,414	人	2	2	継続	事業を継続する。リピーターの多い事業の継続実施と新規事業を企画実施する。	社会 教育 課
217	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	プラネタリウム館運営事業費	8,744	10,974	0.15	2.02	開館日数	256	日	延べ利用者数	3,872	人	2	2	継続	事業を継続する。また、施設のあり方について検討を行う。	社会 教育 課
218	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	山の家運営管理事業費	10,305	13,428	0.15	2.90	開館日数	308	日	延べ利用者数	9,725	人	2	2	継続	山の家自主事業を継続する。利用者が安全、快適に利用できるよう、施設の維持管理、運営を行う。	社会 教育 課
219	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	山の家自主事業費	50	1,468	0.15	0.27	山の家自主事業参加者数	59	人				2	2	継続	事業を継続する。山を家の利用を促進するため、自主事業として初級木彫教室、テニス交流会を開催する。	社会 教育 課
220	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	庁舎北別館管理事業費	2,509	3,000	0.06	0.00	開館日数	354	日	延べ利用者数	24,127	人	2	2	継続	事業を継続する。夜間管理業務委託の検討を行う。	社会 教育 課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)						事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課
	基本方針		施策目標		施策							指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事務改善	
221	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	山城総合文化センター等管理運営 事業費	51,042	53,499	0.30	0.00	延べ利用者数(山城総合文 化センター)	93,038	人	延べ利用者数(山城プール、 不動川・上狛駅東公園)	147,190	人	2	2	継続	事業を継続する。指定管理者の管理運営の状況を把握し、 施設の設置目的が達成されるように指導監督を行う。	社会 教育 課
222	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	やすらぎコミュニティセンター管理事 業費	5,847	7,076	0.15	0.00	延べ利用団体数	504	団体	使用料収入額(利用料金)	6,000	円	2	2	継続	事業を継続する。電気設備改修工事を行う。	健康 推進 課
223	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	当尾の郷会館管理事業費	3,009	7,923	0.60	0.00	利用者数	9,840	人				2	2	継続	事業を継続する。利用者が安全、快適に利用できるよう施 設の維持管理と運営を行う。	社会 教育 課
224	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	少年少女合唱団育成事業費	1,746	2,647	0.11	0.00	延べ活動日数	115	日	団員数	95	人	2	2	継続	事業を継続する。市内3団の交流を深め、各団の活動を参 考としつつ、事業内容の充実を図る。	社会 教育 課
225	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	23	生涯学習の 推進と環境 づくり	文化財保護啓発事業費	2,398	6,764	0.50	0.10	延べ講座開催回数	4	回	延べ講座参加者数	370	人	2	2	継続	事業を継続する。ふれあい文化講座は年4回開催する。愛 護団体の補助については、事業内容・実績を注視し、必要 な場合は見直しを行う。	文化 財保 護課
226	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	24	生涯スポー ツの充実	スポーツ推進委員事業費	2,049	6,963	0.60	0.00	スポーツ推進委員活動回数	57	回	延べ事業参加者数	6,083	人	2	2	継続	事業を継続する。スポーツ推進委員の配置及びスポーツ教 室等を開催する。	社会 教育 課
227	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	24	生涯スポー ツの充実	社会体育事務事業費	877	5,791	0.60	0.00	社会体育施設使用申請受付 件数	18,180	件				2	2	継続	事業を継続する。	社会 教育 課
228	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	24	生涯スポー ツの充実	生涯スポーツ振興事業費	448	5,362	0.60	0.00	木津地区プール開放利用者 数	373	人				2	2	継続	事業を継続する。小学校プールの一般開放等を行う。	社会 教育 課
229	4	豊かな心を 育む教育・文 化の創造	3	生涯にわた る学習機会 の充実	24	生涯スポー ツの充実	社会体育振興事業費	10,390	17,470	0.60	0.80	補助金交付団体数	2	団体	延べ補助金交付団体会員数	2,393	人	2	2	拡充	事業を継続する。マラソン大会として6回目となる歴史めぐり マラソンin木津川を開催し、市外からの参加者を受け入れ る。また、観光協会ともタイアップした事業を計画する。	社会 教育 課
230	5	連携を強め 地域を支え るネットワ ークの創造	1	道路交通 ネットワー クの整備・充 実	25	地域を結ぶ 道路ネット ワークの整 備	道路橋りょう事務事業費	2,062	5,748	0.45	0.00	負担金支払団体数	5	団体				2	2	継続	事業を継続する。	建設 課
231	5	連携を強め 地域を支え るネットワ ークの創造	1	道路交通 ネットワー クの整備・充 実	25	地域を結ぶ 道路ネット ワークの整 備	道路新設改良事業費	27,595	32,919	0.65	0.00	工事実施件数	5	箇所				2	2	継続	事業を継続する。地元要望のうち緊急性の高いものから実 施していく。	建設 課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額÷人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課				
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	区分	内容
232	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	1	道路交通 ネットワークの整備・充実	25	地域を結ぶ 道路ネットワークの整備	道路関係負担金事業費	199	7,570	0.90	0.00	要望団体数(加盟団体数)		4	団体	要望実施件数		8	件	2	2	継続	事業を継続する。各協議会を通じて要望活動を実施する。特に、木津川右岸宇治木津線は、国において「計画段階評価」が円滑に進められ、一日も早くルート決定されるように、よりインパクトの強い要望活動を行う。	指導 検査 課
233	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	1	道路交通 ネットワークの整備・充実	25	地域を結ぶ 道路ネットワークの整備	用地事業費	19,415	51,372	3.90	0.08	市道認定路線の総延長		581	km	市道認定路線本数		2,133	本	2	2	継続	事業を継続する。新規認定路線、廃止路線等を取りまとめ、道路管理者として道路法に定められた道路台帳を整備し、現状道路網を把握する。	管理 課
234	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	1	道路交通 ネットワークの整備・充実	25	地域を結ぶ 道路ネットワークの整備	西垣外加茂線道路改良事業費	832	4,927	0.50	0.00	当該年度整備済延長		0	m	整備率(整備済延長/総整備延長)		0	%	2	2	継続	事業を継続する。	建設 課
235	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	1	道路交通 ネットワークの整備・充実	25	地域を結ぶ 道路ネットワークの整備	内垣外内田山線他道路改良事業費	353	4,448	0.50	0.00	当該年度整備済延長		0	m	整備率(整備済延長/総整備延長)		0	%	2	2	継続	事業を継続する。用地買収が完了した箇所より、速やかに工事着手する予定である。	建設 課
236	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	1	道路交通 ネットワークの整備・充実	25	地域を結ぶ 道路ネットワークの整備	木津中ノ川線外1線道路改良事業費	2,991	7,086	0.50	0.00	河川側ブロック積嵩上げ延長		101	m	道路拡幅(舗装)延長		0	m	2	2	継続	事業を継続する。	建設 課
237	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	1	道路交通 ネットワークの整備・充実	25	地域を結ぶ 道路ネットワークの整備	木津内田山線道路改良事業費	135	4,230	0.50	0.00	当該年度整備済延長		2	m	整備率(整備済延長/総整備延長)		1	%	2	2	継続	事業を継続する。用地測量を実施し、滞りなく工事着手できるよう進める。	建設 課
238	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	1	道路交通 ネットワークの整備・充実	26	地域公共交通ネットワークの充実	地域公共交通サービス再編検討事業費	9,982	15,961	0.73	0.00	地域公共交通総合連携協議会開催回数		4	回					2	2	継続	事業を継続する。地域公共交通総合連携協議会において、学識経験者・地域住民・運行事業者の幅広い意見を踏まえ、市全体の運行形態を検討する。	学研 企画 課
239	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	1	道路交通 ネットワークの整備・充実	26	地域公共交通ネットワークの充実	JR駅舎再生業務委託事業費	4,500	7,612	0.38	0.00	管理日数		365	日	一日あたりの駅利用者数(棚倉駅と上粕駅の合計)		140	人	2	2	継続(抜本見直し)	事業を継続(抜本見直し)する。無人駅舎に午後4時15分から午後7時15分まで人員を配置し、窓口業務(午後4時30分から午後7時)を行う。	学研 企画 課
240	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	1	道路交通 ネットワークの整備・充実	26	地域公共交通ネットワークの充実	各種負担金事業費	45,529	49,051	0.43	0.00	JRIにかかる沿線自治体との協議会など加入数		4	団体					2	2	継続	事業を継続する。各鉄道路線の整備を促進するため、同盟会に参画するとともにJR奈良線の高速化・複線化第二期工事に必要な調整を行う。	学研 企画 課
241	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	1	道路交通 ネットワークの整備・充実	26	地域公共交通ネットワークの充実	コミュニティバス運行事業費	52,006	58,804	0.83	0.00	コミュニティバス年間利用者数		259,875	人	運賃収入合計額		46,726	千円	2	2	継続	事業を継続する。地域公共交通網形成計画に基づき、引き続きコミュニティバス実証運行を行う。	学研 企画 課
242	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	2	計画的な土地利用と快適な都市環境の形成	27	計画的な土地利用による豊かな都市形成	都市計画事務事業費	95,188	108,292	1.60	0.00	負担金支払団体数		6	団体数					2	2	継続	事業を継続する。都市計画に係る計画案について市民に広く周知する。負担金支払団体数の増加(街づくり区画整理協会)については、平成29年度から木津駅前地区事業費と統合したことによるものである。	都市 計画 課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額÷人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課			
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 向上事業改善	区分
243	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	2	計画的な土地 利用と快適な 都市環境の形成	27	計画的な土地 利用による豊かな 都市形成	都市計画審議会事業費	430	5,344	0.60	0.00	審議会開催回数	3	回				2	2	継続	事業を継続する。	都市 計画 課	
244	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	2	計画的な土地 利用と快適な 都市環境の形成	28	中心都市拠点と都市拠 点の整備促進	木津駅前地区整備事業費	2,586	9,957	0.90	0.00	宅地管理	9	件				3	2	縮小	事業を継続する。都市計画事務事業に統合し、道路整備や 道路引継までの維持管理と、宅地の維持管理並びに有効 利用促進を行う。	都市 計画 課	
245	5	連携を強め 地域を支える ネットワークの創造	2	計画的な土地 利用と快適な 都市環境の形成	29	学研都市の 整備促進	木津北地区保全推進事業費	162,371	178,751	2.00	0.00	管理用通路の整備回数	2	回	さとやま学校		11	回	2	2	継続	事業を継続する。管理用通路の整備や1年間を通じた体験 活動としてさとやま学校を実施する。	木津 北地 区保 全推 進室
246	6	環境と調和 した持続可能 なまちの創造	1	地球環境と 身近な自然の 保全と継承	31	身近な自然 の保全と活用	松林保全対策事業費	450	1,023	0.07	0.00	樹幹注入本数	150	本				2	2	継続	事業を継続する。松くい虫による松枯れ対策として、樹幹注 入を継続する。	農政 課	
247	6	環境と調和 した持続可能 なまちの創造	1	地球環境と 身近な自然の 保全と継承	31	身近な自然 の保全と活用	放置竹林被害拡大防止事業費	1,566	4,023	0.30	0.00	整理伐面積	1	ha	刈り払い面積		3	ha	2	2	継続	事業を継続する。平成29年度は、整理伐1ha、刈り払い3. 00ha、出材180本を予定している。	農政 課
248	6	環境と調和 した持続可能 なまちの創造	1	地球環境と 身近な自然の 保全と継承	31	身近な自然 の保全と活用	内水面漁業振興対策事業費	1,133	1,379	0.03	0.00	補助金交付団体数	1	団体	種苗放流実績数量		1,133	kg	2	2	継続	木津川市の水産資源を回復・維持していくために、事業を継 続する。	農政 課
249	6	環境と調和 した持続可能 なまちの創造	1	地球環境と 身近な自然の 保全と継承	31	身近な自然 の保全と活用	ふれあい農園運営事業費	1,342	4,618	0.40	0.00	ふれあい農園区画数	197	区画	利用率(貸付区画/総区画 数)		88	%	2	2	終了	平成30年度を目途に事業を廃止する方向で調整を進める。 市直営による市民農園を廃止し、民間による市民農園の開 設を促し、市内遊休農地の解消を図る。	農政 課
250	6	環境と調和 した持続可能 なまちの創造	2	環境負荷を 低減する生活 環境づくり	32	環境教育の 推進	リサイクル研修ステーション管理運 営事業費	7,983	13,154	0.40	3.70	開館日数(リサイクル・展示物・見 学・学習等)	293	日	延べ来館者数		15,191	人	2	2	継続	事業を継続する。リサイクル研修ステーションの管理運営を 行うとともに、老朽化による今後のあり方について検討す る。	まち美 化推 進課
251	6	環境と調和 した持続可能 なまちの創造	2	環境負荷を 低減する生活 環境づくり	32	環境教育の 推進	リサイクル実践事業費	1,606	7,332	0.60	0.30	開催回数(環境イベント、講座 等)	27	回	延べ参加者数(環境イベント、 講座等)		1,401	人	2	2	継続	事業を継続する。リサイクル研修ステーションにおいて、各 種講座、こどもエコクラブ活動、リユースコーナーの運営、関 係団体の活動支援等を行うなど、市民がごみ減量化を実行 できる環境を整え、啓発活動を行う。また、廃棄物減量等推 進員の会が主催する環境まつりに協力する。	まち美 化推 進課
252	6	環境と調和 した持続可能 なまちの創造	2	環境負荷を 低減する生活 環境づくり	32	環境教育の 推進	資源ごみ・リサイクル・減量化事業 費	13,477	20,848	0.90	0.00	廃棄物減量等推進審議会開 催回数	2	回	集団回収古紙重量		2,307,707	kg	2	2	継続	事業を継続する。家庭ごみの減量化・資源化に向け、廃棄 物減量等推進審議会からの答申に基づき、有料指定袋制 の導入に向けた取り組みを進める。古紙集団回収を行う地 域団体、エコ生活設備(生ごみ処理容器、雨水タンク、太陽 光発電、蓄電設備)を設置する個人に補助金を支出する。 市内各地にペットボトル・紙バック・乾電池・小型家電の回収 ネット・ボックスを設置する。	まち美 化推 進課
253	6	環境と調和 した持続可能 なまちの創造	2	環境負荷を 低減する生活 環境づくり	33	環境への負 荷が少ない 循環型社会 の構築	環境衛生事務事業費	1,887	4,205	0.25	1.10	蜂防護服の延べ貸出件数	57	件				2	2	継続	事業を継続する。環境衛生事務に関する諸経費(臨時職員 賃金、図書購入費、旅費)を支出する。また、市民に蜂防護 服の貸出を行う。	まち美 化推 進課	

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)				事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課			
	基本方針		施策目標							施策		指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位		事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	区分
254	6	環境と調和 した持続可 能なまちの 創造	2	環境負荷を 低減する生 活環境づくり	33	環境への負 荷が少ない 循環型社会 の構築	清掃総務事務事業費	1,525	6,571	0.55	0.20	ごみ収集カレンダー作成部数	34,300	部	メールサービス登録者数	1,388	人	2	2	継続	事業を継続する。ごみ収集カレンダーを作成・配布するとともに、ごみ収集日お知らせメールサービスを提供する。また、警察と連携して、家庭ごみ持ち去り防止パトロールを実施する。	まち美化 推進課	
255	6	環境と調和 した持続可 能なまちの 創造	2	環境負荷を 低減する生 活環境づくり	33	環境への負 荷が少ない 循環型社会 の構築	ごみ処理事業費	1,056,007	1,066,508	1.15	0.40	家庭系一般廃棄物収集量	15,222	t	事業系一般廃棄物収集量	2,925	t	2	2	継続	事業を継続する。市内の家庭系ごみを収集・処理する。また、相楽郡西部塵埃処理組合の負担金を支出する。	まち美化 推進課	
256	6	環境と調和 した持続可 能なまちの 創造	2	環境負荷を 低減する生 活環境づくり	33	環境への負 荷が少ない 循環型社会 の構築	し尿処理事業費	162,527	165,394	0.35	0.00	し尿収集人口	3,492	人	し尿くみ取り量	3,113	kl	2	2	継続	事業を継続する。し尿処理事務を共同実施する相楽郡広域事務組合に分担金を支出する。し尿くみ取り券を販売するとともに、不要となったくみ取り券の還付請求の対応を行う。	まち美化 推進課	
257	6	環境と調和 した持続可 能なまちの 創造	2	環境負荷を 低減する生 活環境づくり	33	環境への負 荷が少ない 循環型社会 の構築	不燃物処分地管理運営事業費	3,316	4,128		0.30	搬入重量	68,400	kg	搬入容積		34	m ³	2	2	継続	事業を継続する。山城支所管内の個人から排出される瓦礫類、地区溝清掃から排出される土砂等の受入れ・埋立処分を行う桜台環境センターを維持管理する。	まち美化 推進課
258	6	環境と調和 した持続可 能なまちの 創造	2	環境負荷を 低減する生 活環境づくり	33	環境への負 荷が少ない 循環型社会 の構築	環境保全事業費	3,735	9,059	0.65	0.00	環境調査実施回数	118	回				2	2	継続	事業を継続する。市内各地で環境調査(大気・水質・騒音・振動等)を実施する。また、研究施設からの公害発生を防止するため、環境保全協定に基づき研究施設の環境管理を行う。木津川市地球温暖化対策実行計画の第2次計画を策定する。	まち美化 推進課	
259	6	環境と調和 した持続可 能なまちの 創造	2	環境負荷を 低減する生 活環境づくり	33	環境への負 荷が少ない 循環型社会 の構築	クリーンセンター整備事業費	3,042,310	3,075,070	4.00	0.00							2	2	継続	事業を継続する。平成30年9月末に施設が完成するよう、平成28年度より施設整備工事に着手し、平成30年3月に外構工事の一部を除き、施設の姿完成を予定しており、計画的な進捗管理に努める。また、施設供用開始に向けた諸準備と相楽郡西部塵埃処理組合の事務局体制の見直しに向けて検討・調整を進める。	クリーン センター建 設推進室	
260	7	まちづくりへ の参画と協 働の創造	1	すべての市 民が等しく 社会参加で きるまちづ くりの推進	34	一人ひとりを 尊重するま ちづくり	人権啓発事業費	6,406	26,326	2.30	1.40	人権啓発事業数	29	事業	延べ人権啓発事業参加者数	4,417	人	2	2	継続	事業を継続する。より効率的に成果を上げるべく、創意工夫をしながら事業を実施するよう努める。なお、職員人権研修により、人権教育・啓発推進リーダーの育成を継続して実施していく。	人権 推進課	
261	7	まちづくりへ の参画と協 働の創造	1	すべての市 民が等しく 社会参加で きるまちづ くりの推進	34	一人ひとりを 尊重するま ちづくり	男女共同参画推進事業費	858	12,046	1.30	0.20	事業及び会議開催回数	18	回	延べ参加者数	866	人	2	2	継続	事業を継続する。木津川市男女共同参画計画後期計画に基づき、男女共同参画事業を推進する。また、事業実施にあたっては、各種事業の共催や改善により、効率的に事業を推進する。	人権 推進課	
262	7	まちづくりへ の参画と協 働の創造	1	すべての市 民が等しく 社会参加で きるまちづ くりの推進	34	一人ひとりを 尊重するま ちづくり	女性センター運営事業費	5,757	16,113	1.00	1.80	事業開催回数	54	回	事業参加者数	1,114	人	2	2	継続	事業を継続する。女性相談の充実を図る。	人権 推進課	
263	7	まちづくりへ の参画と協 働の創造	1	すべての市 民が等しく 社会参加で きるまちづ くりの推進	34	一人ひとりを 尊重するま ちづくり	木津人権センター運営事業費	5,369	15,593	1.05	0.60	開館日数	293	日	利用者数	1,637	人	2	2	継続	事業を継続する。人権に関する様々な相談や情報発信の拠点として、人権センター機能の充実を図る。	人権 推進課	
264	7	まちづくりへ の参画と協 働の創造	1	すべての市 民が等しく 社会参加で きるまちづ くりの推進	34	一人ひとりを 尊重するま ちづくり	加茂人権センター運営事業費	3,364	20,404	1.75	1.00	開館日数	293	日	利用者数	1,690	人	2	2	継続	事業を継続する。人権に関する様々な相談や情報発信の拠点として、人権センター機能の充実を図る。	人権 推進課	

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額÷人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管課
	基本方針		施策目標		施策						指標項目1	数値	単位	指標項目2	数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	区分	内容	
265	7	まちづくりへの参画と協働の創造	1	すべての市民が等しく社会参加できるまちづくりの推進	34	一人ひとりを尊重するまちづくり	1,880	6,635	0.25	1.00	講座数	7	講座	延べ講座受講者数	1,353	人	2	2	継続	事業を継続する。受講料の見直しや講座内容の精査に努め、参加しやすい講座にする。	人権推進課
266	7	まちづくりへの参画と協働の創造	1	すべての市民が等しく社会参加できるまちづくりの推進	34	一人ひとりを尊重するまちづくり	17,903	18,722	0.10	0.00	開館日数	328	日	延べ利用者数	42,193	人	2	3	継続	事業を継続する。利用者、特に高齢者の憩の場となるよう老朽箇所等を計画的に修繕する。また、70歳以上の利用者に対し、平成30年度からの利用料改定について周知を行う。	人権推進課
267	7	まちづくりへの参画と協働の創造	1	すべての市民が等しく社会参加できるまちづくりの推進	34	一人ひとりを尊重するまちづくり	17,246	19,294	0.25	0.00	開館日数	341	日	延べ利用者数	27,264	人	2	3	継続	事業を継続する。利用者、特に高齢者の憩の場となるよう老朽箇所等を計画的に修繕する。また、70歳以上の利用者に対し、平成30年度からの利用料改定について周知を行う。	人権推進課
268	7	まちづくりへの参画と協働の創造	1	すべての市民が等しく社会参加できるまちづくりの推進	35	多様・多彩な人と人とのつながりのあるまちづくりの実現	4,520	21,310	2.05	0.00	市長交際費	304	千円				2	2	継続	事業を継続する。市長、副市長の執務及び対外的な交際が円滑に行われるよう努め、必要最小限の経費として継続する。	人事秘書課
269	7	まちづくりへの参画と協働の創造	1	すべての市民が等しく社会参加できるまちづくりの推進	35	多様・多彩な人と人とのつながりのあるまちづくりの実現	411	3,937	0.10	1.00	CIRによる国際交流イベント等実施回数	18	回				2	2	継続	事業を継続する。CIR主催による多文化交流事業を実施する。	人事秘書課
270	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	843	9,443	1.05	0.00	ページ更新件数	2,166	件	ホームページアクセス数	2,463,597	件	2	2	継続	事業を継続する。「JIS X 8341-3」の等級AAの達成基準に基づき、全ページの適合チェックを行うとともに、職員研修を実施し必要に応じた更新を行う。また、耐用年数の経過したホームページ更新システムについて、機器更新と併せ京都セキュリティクラウドへの移行を進める。	学研企画課
271	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	27,058	35,658	1.05	0.00	発行部数	355,700	冊	世帯配布率(配布世帯/全世帯数)	100	%	2	2	継続	事業を継続する。限られた紙面においてわかりやすい情報を提供できるよう、表現方法を工夫するとともに、正確に素早く発信するため、より効率的で効果的な方法を研究する。また、収入確保のための広告収入件数の増加を目指す。	学研企画課
272	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	5,781	10,531	0.58	0.00	コミュニティ事業助成件数	2	件				2	2	継続	事業を継続する。総合計画実施計画の更新を進める。平成29年度実施予定の第2次総合計画策定作業にあたり、調査・検討を進める。	学研企画課
273	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	3,460	13,861	1.27	0.00	公布本数(条例、規則、訓令等)	287	本	研修会参加者数(文書主任研修会、法制研修会等)	639	人	2	2	継続	事業を継続する。法令の動向を適切に把握し、正確な法解釈を行うとともに、立案手続及び政策決定に至るまでのプロセスについて、各所属で十分検討がなされるよう支援を行っていく。	総務課
274	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	11	3,860	0.47	0.00	公文書開示請求件数	72	件	公文書任意の開示申出件数	-	件	2	2	継続	事業を継続する。開示請求から開示実施までの一連の流れにおいて、迅速に対応するとともに説明責任を十分に果たすことができるよう、意識づけを行っていく。日常的な事務において、個人情報を適切に取扱うよう周知徹底を図る。	総務課
275	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	8,174	13,907	0.70	0.16	文書登録件数	9,931	件				2	2	継続	事業を継続する。職員に対して、情報公開制度と公文書の管理についての意識を浸透させる。	総務課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)					事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標					評価		今後の方向性		所管 課	
	基本方針		施策目標		施策						指標項目1	数値	単位	指標項目2	数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事務改善	区分		内容
276	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	7,800	8,373	0.07	0.00	総合賠償保険加入者数	74,561	人	弁護士相談件数	202	件	2	2	継続	事業を継続する。選択可能な保険サービスのうちで最適なサービスを利用できるよう検討していく。	総務課
277	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	633	3,827	0.39	0.00	選挙管理委員会開催回数	7	回				2	2	継続	事業を継続する。平成30年4月執行予定の京都府知事選挙に向け、引き続き選挙事務の効率化を進める。また、従来開票所として使用してきた中央体育館が大規模改修により使用できなくなるため、代替施設の検討や開票手順の見直しに取り組む。さらに、他の世代に比べ投票率が低い若年層に対する選挙啓発や、児童・生徒に対する主権者教育についても引き続き取り組んでいく。	総務課
278	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	547	2,595	0.25	0.00	啓発事業等実施回数(成人式啓発事業数・コンクール実施回数他)	8	回				2	2	継続	事業を継続する。ポスターコンクール応募数等から、応募方法や周知方法等を検証し、分かりやすく応募しやすい環境を整え、応募数の拡大を目指す。選挙権年齢の引き下げに伴い、新たに有権者となる18歳の住民に対して誕生日月にバースデーカードを送付する。	総務課
279	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	15,579	48,339	4.00	1.00	定例会会期日数・閉会中の委員会開会日数	131	日	議会中継等インターネットアクセス件数	48,918	件	2	2	継続	事業を継続する。経費コストを考慮し、今後も入札による業務委託を行いながら事業を進めていく。	議会事務局
280	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	36	行政情報提供の充実と市民の声を市政に活かす仕組みづくり	28,927	47,109	2.22	0.33	当日有権者数	59,125	人	投票者数	33,203	人	2	2	終了		総務課
281	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	37	市民と行政との協働体制の確立	65,810	76,375	1.29	0.00	行政地域数	33	地域	行政地域加入世帯率	100	%	2	2	継続(抜本見直し)	事業を継続(抜本見直し)する。地域長・副地域長の任期、始期及び副地域長の人数の統一化を図っていく。地域活動支援交付金、集会所整備等事業補助金についても、行政改革の観点から見直しを図っていく。また、梅美台地域に1軒、城山台地域に2軒、集会所を建築する。	総務課
282	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	37	市民と行政との協働体制の確立	2,140	13,606	1.40	0.00	木津川市制施行10周年記念式典	1	回				2	2	終了		総務課
283	7	まちづくりへの参画と協働の創造	2	市民と行政のパートナーシップの推進	37	市民と行政との協働体制の確立	600	1,091	0.06	0.00	参加者数	35	人				2	2	継続	事業を継続する。課題解決や市の魅力発信につながる企画の立案や実施に向け、同志社大学と連携して取り組んでいく。	学校教育課
284	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	38	新たな行政経営システムによる市民サービスの向上	21,413	31,159	1.19	0.00	創生総合戦略推進委員会開催	1	回				2	2	継続	事業を継続する。創生総合戦略推進委員会(外部有識者)、本部会議(庁内)を開催する。ふるさと応援事業補助金制度の運用、国の推進交付金を活用した創生事業を実施する。併せて、交付金を活用した新たな事業を検討する。	学研企画課
285	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	38	新たな行政経営システムによる市民サービスの向上	281	16,661	2.00	0.00	行財政改革推進委員会開催回数	4	回	事業仕分け実施回数	1	回	2	2	継続	事業を継続する。第2次木津川市行財政改革行動計画に基づき行財政改革を推進する。また、執行目標、事務事業評価の実施、指定管理者の制度運用等を行う。平成29年度は、第3次木津川市行財政改革大綱の策定年であり、行財政改革推進委員会への諮問、パブリックコメントの実施、行財政改革推進本部会議の政策決定を経て、策定を行う。なお、行財政改革推進委員会による事業仕分けは、第3次大綱の審議(諮問事項)のため、今年度は実施しない。	行財政改革推進室
286	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	38	新たな行政経営システムによる市民サービスの向上	83	3,031	0.36	0.00	審査請求件数	1	件				2	2	継続	事業を継続する。市民の権利利益の救済を図るとともに、行政の適正な運営を確保する。	総務課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)						事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課
	基本方針		施策目標		施策							指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事業改善	
287	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	39	庁舎機能の連携・強化	加茂支所管理運営事業費	5,418	79,128	9.00	0.00	支所開庁日数	243	日	証明書等発行件数(市民係)	10,624	件	2	2	継続	事業を継続する。引き続き節電を主とした経費節減に努め、住民への適切なサービス提供ができるよう、支所管理・運営業務のさらなる効率化を図るとともに、高齢化の進む加茂地域の拠点施設として、より親しみのある分りやすい窓口サービスの向上に努めていく。また、事前登録型本人通知制度の周知と登録者数の増加に努める。	加茂支所
288	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	39	庁舎機能の連携・強化	山城支所管理運営事業費	5,295	62,625	7.00	2.00	支所開庁日数	243	日	証明書等発行件数(市民係)	6,424	件	2	2	継続	事業を継続する。庁舎内外の環境を整え、安全かつ効果的に維持管理を行う。	山城支所
289	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	39	庁舎機能の連携・強化	西部出張所管理運営事業費	3,329	29,947	3.25	4.00	業務取扱件数	30,865	件				2	2	継続	事業を継続する。市民の利便性を図るため、窓口での市民の声を前向きに捉え、出張所で実施可能な業務を積極的に調整していく。	市民課
290	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	39	庁舎機能の連携・強化	住民基本台帳ネットワークシステム事業費	21,708	40,955	2.35	0.00	個人番号カード交付件数	5,732	件				2	2	継続	事業を継続する。コンビニ交付サービスに戸籍全部事項証明や税証明等を追加し、広報やホームページで利便性を十分に周知することにより、個人番号カードの普及に努める。また、安定したサービス提供を維持するため、耐用年数を経過するシステム機器の更新を行う。	市民課
291	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	40	組織・機構と人材育成	職員研修事業費	3,161	6,437	0.40	0.00	延べ受研者数	2,982	人	受研率(延べ受研者数/職員数)	497	%	2	2	継続	事業を継続する。平成25年に策定した「木津川市人材育成基本方針」に基づき、木津川市の将来像や行政のあり方等を自分たちで創っていくという気構えを持った職員を育成するため、職員研修の充実と効果的な人材育成に取り組む。	人事秘書課
292	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	40	組織・機構と人材育成	職員労務管理事業費	25,582	46,057	2.50	1.00	健康診断受診者数	770	人				3	2	継続	事業を継続する。復職カウンセリングの対象を拡充する。	人事秘書課
293	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	一般管理庶務事業費	10,450	10,941	0.06	0.00	印刷機設置台数	24	台				2	2	継続	事業を継続する。不必要なフルカラー印刷の削減や200枚以上の印刷時は、印刷機を利用する等のデジタル複合機使用方法の更なる徹底を図る。	総務課
294	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	監査委員事務事業費	723	11,370	1.30	0.00	定期監査、工事監査等	8	回	例月出納検査	10	回	2	2	継続	事業を継続する。例月出納検査、定期監査、公共施設等現況調査、工事監査、決算審査の他に行政監査を実施する。住民監査請求の受理及び監査を行う。	行政委員会事務局
295	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	土木庶務事業費	605	35,003	4.20	0.00	入札件数	146	件				2	2	継続	事業を継続する。引き続き入札制度を向上させるため、チェック体制の一層の改善・強化を行い、効率的かつ適正な入札の執行に向けて取り組む。	指導検査課
296	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	物品管理事務事業費	4,428	7,704	0.40	0.00	再生紙購入箱数(A4サイズ2,500枚)	2,407	箱				2	2	継続	事業を継続する。全庁的に節約意識(ペーパーレス、物品の永続使用等)について周知・徹底を行う。また、物品の供出使用(リユース)を一層進める。	財政課
297	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	課税事務事業費	92,346	256,146	20.00	9.00	納税義務者数(市府民税)	33,936	人	納税義務者数(固定資産税：土地)	23,525	人	2	2	継続	事業を継続する。課税事務の改善と効率化を進め、課税客体を適切に把握し、課税の適正化と公平化を図る。また平成26年度に導入した申告支援システムを円滑に使用し、事務負担の軽減を図る。	税務課

■平成29年度事務事業評価結果一覧表(平成28年度執行分)

No.	総合計画(基本計画)						事業名	事業費 決算額 (千円)	総コスト (事業費決算 額+人件費) (千円)	従業員数 (人)	嘱託・臨時 職員数 (人)	指標						評価		今後の方向性		所管 課		
	基本方針		施策目標		施策							指標項目1		数値	単位	指標項目2		数値	単位	事業実施・ 総計推進	コスト削減効率 化事務改善		区分	内容
298	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	徴収事務事業費	5,830	26,305	2.50	1.00	口座振替件数及びコンビニ納付件数		129,979	件	徴収率(現年度分)		99	%	2	2	継続	事業を継続する。納税環境の整備・充実を行う。(特にクレジット収納の導入に向け、調査・検討を行う。)	税務課
299	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	ふるさと応援促進事業費	2,333	9,950	0.93	0.00	寄附件数		321	件	寄附金額		13,088,821	円	2	2	継続	事業を継続する。記念品カタログの作成及びふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」の利用により、市のふるさと応援基金を周知するとともに、市のPRに取り組む。加えて、さらなる寄附件数の増加を図るため、記念品の更新頻度を年2回に変更する。また、総務大臣通知(寄附額の3割以上の記念品禁止、市民への記念品送付禁止)への対応を図る。	学研企画課
300	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	広域連合京都府地方税機構負担金事業費	63,834	76,119	1.50	0.00	徴収率(現年度分)		99	%	徴収率(過年度分)		23	%	2	2	継続	事業を継続する。納税者の利便性向上を図るとともに、滞納事案につき滞納整理事務を効果的・効率的に行い、税收確保と徴収率の向上を図る。	税務課
301	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	会計管理事業費	1,098	33,858	4.00	0.00	収入命令及び支出命令書等書類審査件数		57,237	件					2	2	継続	事業を継続する。各職員が担当している業務を定期的に交代し、会計課全体の業務内容の把握に努める。	会計課
302	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	財産管理事務事業費	13,571	27,494	1.70	0.00	普通財産保有面積(土地)		349,796	m ²	普通財産売払面積		182	m ²	2	2	継続	事業を継続する。売残り物件を人事秘書課の行政財産として使用することとなったため、他の普通財産の売払いについて検討する。	財政課
303	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	地籍調査事業費	388	4,499	0.50	0.08	復元した基準点の数		0	点					2	2	継続	事業を継続する。地籍調査の復元は2年に1回として、業務委託経費を圧縮する。平成28年度は発注せず、平成29年度平成27,28年度の調査分を発注する予定である。同様に、平成30年度は発注せず、平成31年度に平成29,30年度の調査分を発注する予定である。	管理課
304	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	学研都市京都土地開発公社利子等	2,515	3,498	0.12	0.00	学研都市開発公社理事会等出席回数		7	回					2	2	継続	事業を継続する。平成29年度一般会計当初予算で債務負担行為を設定した道路新設改良事業用地取得事業(限度額:82,000千円、期間:平成29年度～33年度)について、事業担当課と連携し、学研都市京都土地開発公社による先行取得を行う。	財政課
305	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	41	健全な財政基盤の確立と財産管理	準財産区財産事務事業費	8,814	12,090	0.40	0.00	補助金交付団体		4	団体					2	2	継続	事業を継続する。準財産区財産の適正な管理を行う。	財政課
306	7	まちづくりへの参画と協働の創造	3	新たな行政経営の展開と財政基盤の強化	42	地方分権と広域連携への対応	相楽中部消防組合負担金事業費	1,030,765	1,032,403	0.20	0.00	火災・救急・救助出動回数		3,001	回	現場到着所要平均時間		8	分	2	2	継続	事業を継続する。	危機管理課